

平成 18 年度秋田県病院事業会計決算審査意見書

第 1 審査の方法

平成 18 年度病院事業会計（脳血管研究センタ - 及びリハビリテ - ション・精神医療センタ - ）の決算審査に当たっては、事業が経済性や公共性に配慮して運営されているか、決算書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかなどについて、決算書類及び附属書類を調査し、関係者の説明を求め、計数の分析を行うとともに、定期監査と例月出納検査の結果も参考にした。

第 2 審査の結果及び意見

1 決算書類について

審査に付された決算書類は、その調製手続き及び計数に誤りがなく、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していることを確認した。

2 経営状況について

（ 1 ） 経営成績について

平成 18 年度の経営成績は、収益総額 72 億 6,874 万円、費用総額 74 億 6,868 万円で、差し引き 1 億 9,994 万円の純損失となっており、平成 15 年度以降続いた黒字から一転し赤字となった。

純損失となった要因は、患者数の減少や診療報酬の改定に伴い医業収益が前年度に比べ 2 億 6,056 万円（6.8%）減少した一方で、給与費などの医業費用が 3,202 万円（0.5%）増加したことなどによるものである。

（ 2 ） 財政状態について

平成 18 年度末の財政状態は、資産総額 198 億 7,371 万円、負債総額 4 億 6,512 万円、資本総額 194 億 859 万円となっている。

前年度末に比較して、資産総額が 10 億 5,019 万円（5.0%）減少し、負債総額は 491 万円（1.1%）増加しており、資本総額では 10 億 5,510 万円（5.2%）減少している。資本総額の減少の要因は、借入資本金（企業債）が定期償還により 8 億 5,748 万円減少したこと、純損失の計上により、剰余金が前年度末に比べ 3 億 6,737 万円減少したことなどによるものである。

自己資本金は、前年度末に比べ減債積立金処分別相当分の組み入れなどにより１億６，９７５万円増加しており、財政基盤の安定性を表す自己資本構成比率は３０．２％で、前年度に比べて０．６ポイント上昇し財政状態は安定している。

また、流動資産４３億３，３８２万円、流動負債４億６，５１２万円で、正味運転資本は３８億６，８７０万円と、前年度末より２億８，２８９万円（６．８％）減少しているが、支払能力を表す流動比率は１００％を大きく超えており、財務の安全性は保たれている。

３ 留意改善を要する事項

診療費の自己負担に係る未収金については、「未収金取扱要領」を定め、督促、電話催告などにより回収に努めているが、依然として多額の未収金があるので、未納者の実態に即した実効性のある対策を行うとともに、引き続き新たな未収金の発生防止に努める必要がある。

リハビリテーション・精神医療センターでは、平成１５年度末に導入した医療情報システムにおいて、導入直後からシステムの不具合が頻繁に発生し、医療事務の処理に支障を来していたことが判明した。また、医療情報システムの不具合の原因が解消されないまま、保守管理委託契約を行ってきたことに加えて、一部業務が不履行であったにもかかわらず委託料を支払うなど、著しく不適正な事務処理も確認されている。こうしたことから、早急に問題の原因を調査し、抜本的な対策を講じる必要がある。

また、同センターでは、貯蔵品において、診療材料の一部に実地棚卸が行われていない例がみられたので、病院事業財務規則を遵守して適切に処理する必要がある。

両病院は、一般会計から多額の補助金をもとに維持・運営されているが、医療制度改革など経営を取り巻く環境が大きく変化していくなか、これまで以上にコスト意識を高めて、経営の改善に努めるとともに、医療技術の向上や業務の効率化に積極的に取り組む必要がある。

４ 付記意見

リハビリテーション・精神医療センターの上記事案については、同センターにおける調査等を注視しつつ、問題の所在及び実態を解明するために、今後も、監査委員として必要な監査を実施していく所存である。

第3 決算の概要

病院事業会計

1 事業の概況

平成18年度病院事業会計は、脳血管研究センター（6診療科、160床）及びリハビリテーション・精神医療センター（4診療科、300床）の事業で構成されている。稼働病床数は、脳血管研究センターが120床、リハビリテーション・精神医療センターが300床の計420床となっている。両病院を合わせた事業の概況は、次のとおりである。

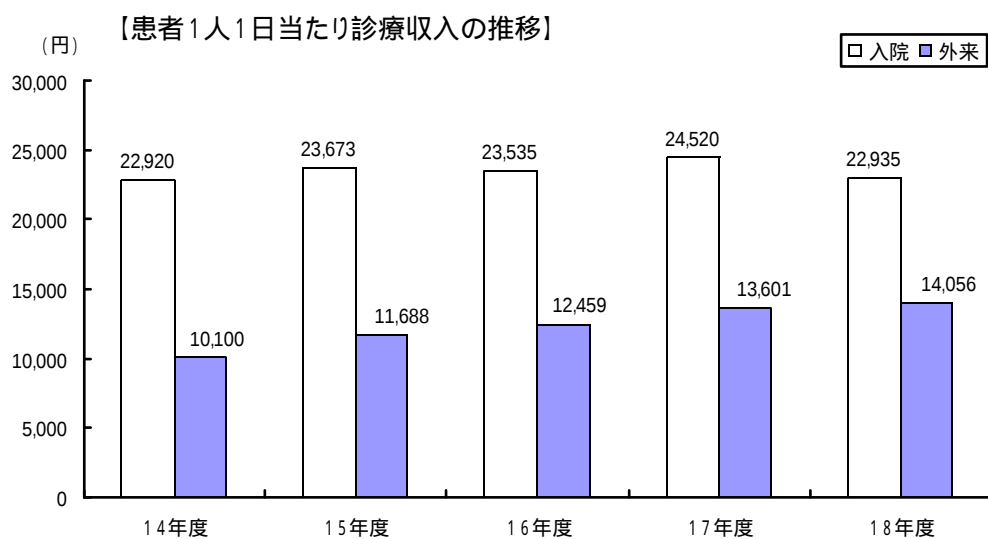
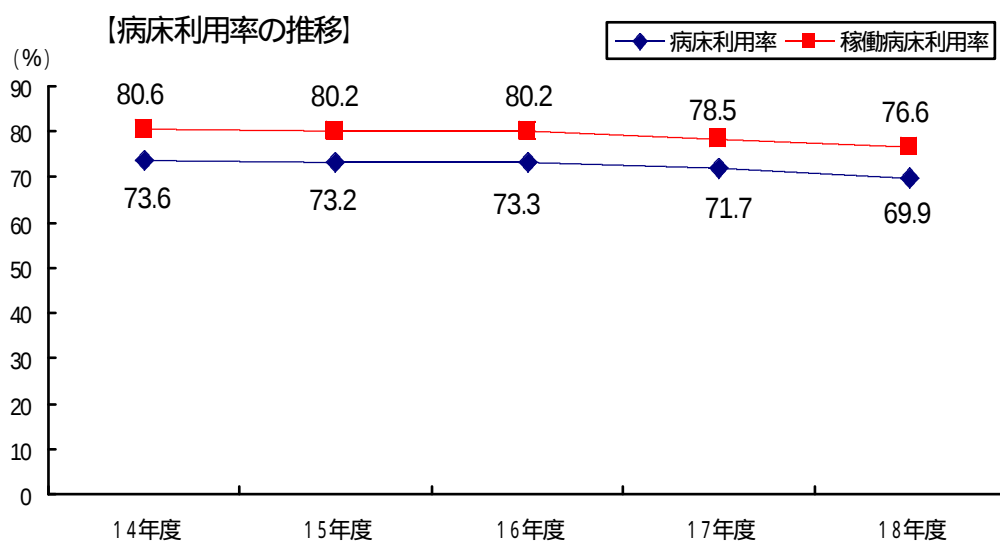
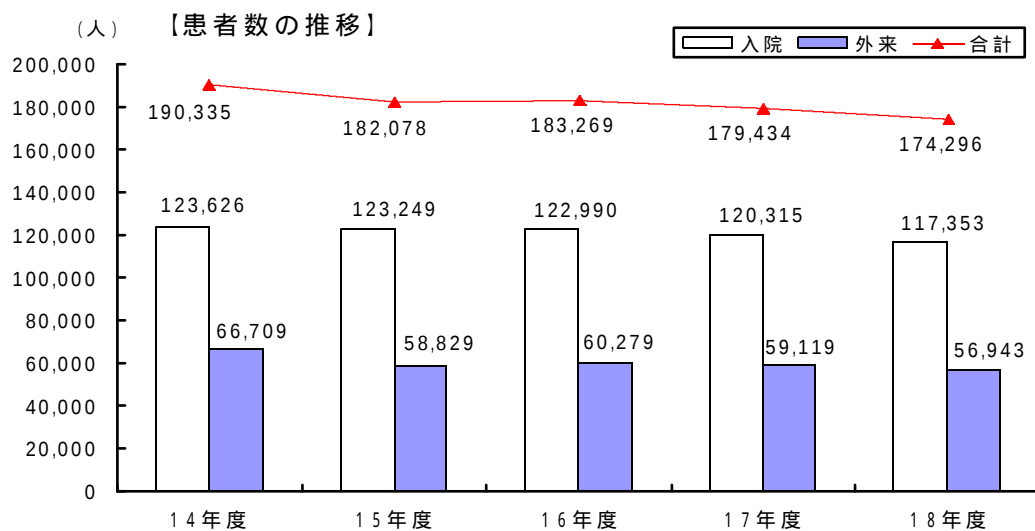
（1）患者の利用状況等

平成18年度の患者数は、入院患者が117,353人、外来患者が56,943人で、全体では174,296人となっている。前年度に比較し入院患者が2,962人（2.5%）の減少、外来患者が2,176人（3.7%）の減少で、全体では5,138人（2.9%）減少している。

病床利用率は69.9%で、前年度に比較し1.8ポイント低下している。なお、病床利用率を実際の稼働病床（420床）でみると76.6%（前年度78.5%）となっている。

患者1人1日当たり診療収入は、入院が22,935円、外来が14,056円で、前年度に比較し入院で1,585円（6.5%）減少、外来で455円（3.3%）増加している。

区 分		単位	平成18年度	平成17年度	対前年度比較		
			(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)	
病 床 数		床	460	460	0	100.0	
うち稼働病床数		床	420	420	0	100.0	
患 者 延 数		人	174,296	179,434	5,138	97.1	
		入院	人	117,353	120,315	2,962	97.5
		外来	人	56,943	59,119	2,176	96.3
1 日平均患者数		入院	人	321.5	329.6	8.1	97.5
		外来	人	232.4	242.3	9.9	95.9
外来 / 入院患者比率		%	48.5	49.1	0.6		
病 床 利 用 率		%	69.9	71.7	1.8		
稼働病床利用率		%	76.6	78.5	1.9		
患 者 1 人 1 日 当たり診療収入	入院	円	22,935	24,520	1,585	93.5	
	外来	円	14,056	13,601	455	103.3	



(2) 医療研究の状況

脳血管研究センターにおいては、県民医療の向上に資するため、脳血管障害及び関連疾患の病態解明とその治療方法確立などの研究を進めており、その成果については、広く県内外において論文・研究発表等を行っているとともに、当センターの患者の検査や治療に大きく貢献している。

(単位：件)

区 分	論文発表	研究発表
平成18年度	58	136
平成17年度	57	156

(3) 医療機器等の整備状況

脳血管研究センターにおいては、病院機能の充実を図るため、医事会計システムの更新を行っている。

また、リハビリテーション・精神医療センターにおいては、より高度な治療を行うため、血液臨床検査の生化学自動分析装置やＣＴ・ＭＲＩ医療画像の３次元処理ワークステーション等を設置している。

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	当年度増加額	当年度減少額	当年度末現在額
医療機器等	1,370,299,798	182,962,632	316,194,430	1,237,068,000
看護用備品	37,637,104	959,000	5,111,757	33,484,347
計	1,407,936,902	183,921,632	321,306,187	1,270,552,347

(4) 職員の配置状況

平成１８年度末の定数内職員数は427名で、前年度より５名の減少となっているが、これは脳血管研究センターで７名減少し、リハビリテーション・精神医療センターにおいて２名増加したことによるものである。

(単位：人、％)

区 分		平成18年度	平成17年度	対前年度比較	
		(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B)
職 種 別	医 師	34(12)	36(8)	2(4)	94.4
	医療技術員	83	82	1	101.2
	看護職員	270	275	5	98.2
	事務職員	33	32	1	103.1
	その他職員	7(57)	7(55)	0(2)	100.0
計		427(69)	432(63)	5(6)	98.8

()は非常勤職員及び臨時的任用職員(職種は医師以外はその他職員としている。)で外書、比率は定数内職員のみと比較である。

2 予算及び決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

事業収益は、予算額73億9,944万円に対し、決算額72億7,499万円（収入率98.3%）で、1億2,445万円の減少となっている。

減少の内容は、リハビリテーション・精神医療センタ - 993万円の増に対し、脳血管研究センタ - 1億3,438万円の減である。

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮受消費税等)
1 款 脳血管研究センタ-事業収益	円 3,642,378,000	円 3,507,994,845	% 96.3	円 134,383,155	円 5,165,047
1 項 医 業 収 益	2,000,205,000	1,867,804,557	93.4	132,400,443	4,527,090
2 項 医業外収益	1,642,173,000	1,640,190,288	99.9	1,982,712	637,957
2 款 リハビリテーション・ 精神医療センタ- 事業収益	3,757,060,000	3,766,991,645	100.3	9,931,645	1,079,483
1 項 医 業 収 益	1,722,690,000	1,733,722,420	100.6	11,032,420	694,487
2 項 医業外収益	2,034,370,000	2,033,269,225	99.9	1,100,775	384,996
合 計	7,399,438,000	7,274,986,490	98.3	124,451,510	6,244,530

イ 支出

事業費用は、予算額75億7,669万円に対し、決算額74億3,836万円（執行率98.2%）で、1億3,834万円の減少となっている。

減少の内容は、脳血管研究センタ - 9,397万円の減、リハビリテーション・精神医療センタ - 4,436万円の減である。

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
1 款 脳血管研究センタ-事業費用	円 3,718,688,000	円 3,624,714,710	% 97.5	円 93,973,290	円 46,372,369
1 項 医 業 費 用	3,536,483,000	3,445,485,792	97.4	90,997,208	43,590,269
2 項 医業外費用	180,205,000	179,228,918	99.5	976,082	2,782,100
3 項 予 備 費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	
2 款 リハビリテーション・ 精神医療センタ- 事業費用	3,858,006,000	3,813,641,343	98.9	44,364,657	39,520,832
1 項 医 業 費 用	3,534,445,000	3,491,988,271	98.8	42,456,729	38,772,332
2 項 医業外費用	323,561,000	321,653,072	99.4	1,907,928	748,500
合 計	7,576,694,000	7,438,356,053	98.2	138,337,947	85,893,201

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

資本的収入は、予算額1億2,100万円に対し、決算額1億2,000万円(収入率99.2%)で、100万円の減少となっている。

イ 支出

資本的支出は、予算額11億9,092万円に対し、決算額11億8,206万円(執行率99.3%)で、886万円の減少となっている。

減少の内容は、脳血管研究センターの建設改良費181万円の減、リハビリテーション・精神医療センターの建設改良費704万円の減である。

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
1 款 脳血管研究センター-資本的収入	円 121,000,000	円 120,000,000	% 99.2	円 1,000,000	
1 項 企 業 債	121,000,000	120,000,000	99.2	1,000,000	

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
1 款 脳血管研究センター-資本的支出	円 705,602,000	円 703,786,695	% 99.7	円 1,815,305	円 6,026,535
1 項 建設改良費	128,481,000	126,666,289	98.6	1,814,711	6,026,535
2 項 企業債償還金	577,121,000	577,120,406	100.0	594	
2 款 リハビリテーション・精神医療センター-資本的支出	485,319,000	478,274,745	98.5	7,044,255	3,710,470
1 項 建設改良費	84,964,000	77,919,870	91.7	7,044,130	3,710,470
2 項 企業債償還金	400,355,000	400,354,875	100.0	125	
合 計	1,190,921,000	1,182,061,440	99.3	8,859,560	9,737,005

資本的収入額が資本的支出額に不足する額10億6,206万円(注)は、減債積立金1億6,975万円及び過年度分損益勘定留保資金 8 億9,232万円で補てんしている。

(注) 120,000,000円 - 1,182,061,440円 = 1,062,061,440円

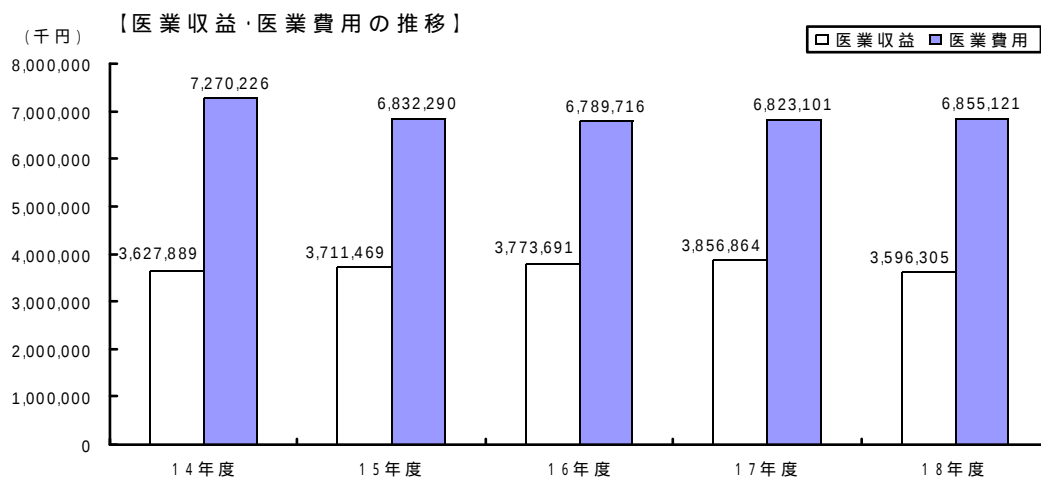
3 経営成績(損益計算書)

平成 1 8 年度の医業収益は、35億9,631万円、医業費用は68億5,512万円で差し引き32億5,882万円の医業損失となっている。

医業収益は入院収益及び外来収益が前年度に比較してそれぞれ、2億5,864万円、368万円

減少したことから、医業収益全体で2億6,056万円減少している。一方、医業費用は給与費の増加(7,096万円)等により、前年度より3,202万円増加している。

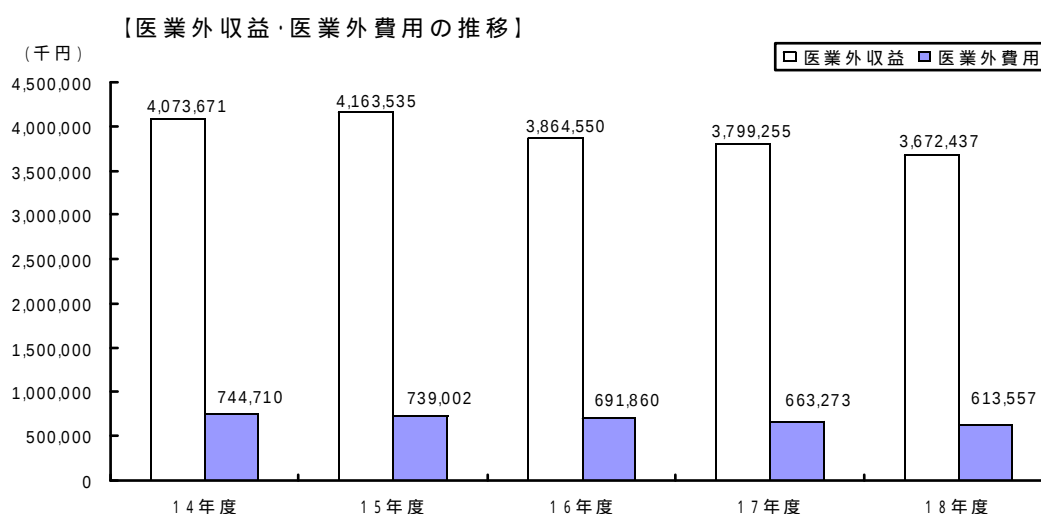
この結果、引き続き医業損失となっており、医業損失は前年度に比べて2億9,258万円増加している。

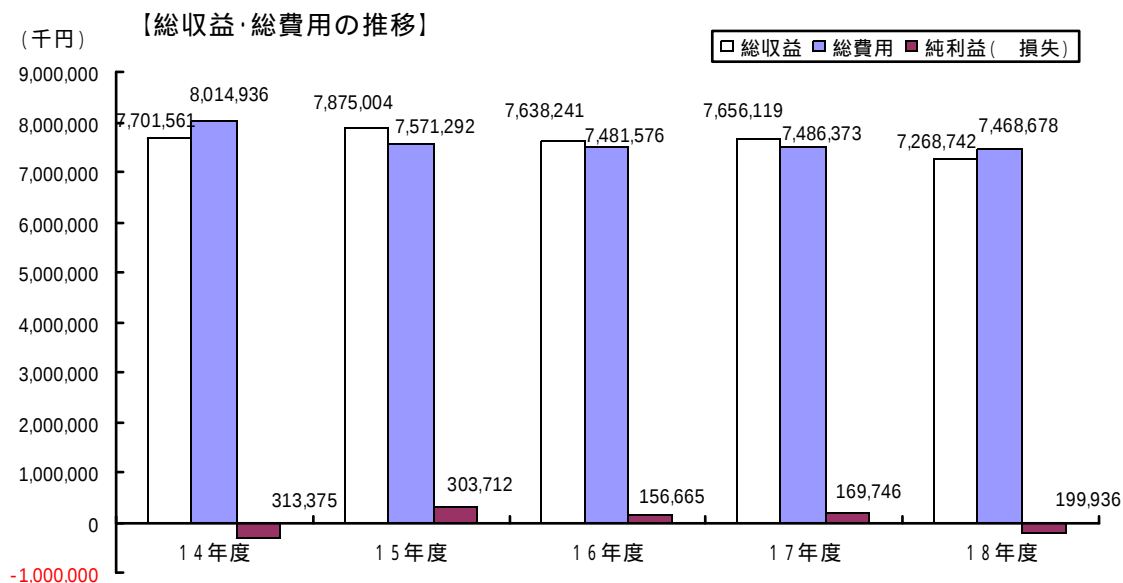


医業外収益は、総額36億7,244万円のうち、他会計補助金が35億2,793万円で、前年度に比較して1億2,244万円減少したことにより、総額で1億2,682万円減少している。

また、医業外費用は、総額6億1,356万円のうち、企業債利息が4億8,580万円で、前年度に比較して2,977万円減少したことにより、総額で4,972万円減少している。

このため、当年度純損失は1億9,994万円となり、前年度までの黒字から一転して赤字となっている。





4 剰余金計算書

(1) 利益剰余金

平成18年度末処理欠損金は、繰越利益剰余金年度末残高(0円)に当年度純損失を加えた1億9,994万円である。

(2) 資本剰余金

当年度の資本剰余金は、受贈財産評価額523万円に、他会計補助金4,078万円、寄附金2,506万円、その他資本剰余金6億2,846万円を加えた6億9,953万円で、この全額を翌年度繰り越している。

5 剰余金処分計算書

平成18年度末処理欠損金1億9,994万円は、繰越欠損金として全額を翌年度に繰り越すことにしている。

6 財政状態(貸借対照表)

(1) 資産

資産の部の総額は198億7,371万円で、前年度末に比較し、10億5,019万円(5.0%)の減少となっている。

これは現金・預金の減少(2億7,939万円)等によって流動資産が2億7,798万円減少したことと、減価償却によって固定資産が7億7,221万円減少したことによるものである。

また、未収金の内容は、医業未収金6億24万円(診療報酬請求分等)のほか、医業外未収金、その他未収金で合わせて269万円となっている。未収金の大半を占める医業未収金は前年度と比較して2,023万円(3.3%)減少している。

なお、資産の内容は、固定資産155億3,989万円、流動資産43億3,382万円である。

(2) 負債

負債の部の総額は4億6,512万円で、前年度に比較し491万円(1.1%)増加している。

負債増加の要因は、その他流動負債が253万円(3.8%)減少したが、未払金が743万円(1.9%)増加したことによるものである。

負債は、全額が流動負債である。

(3) 資本

資本の部の総額は194億859万円で、前年度末に比較し10億5,510万円(5.2%)の減少となっている。

資本の部の減少要因は、企業債の償還によって借入資本金が8億5,748万円減少したことによるものである。

資本の内容は、資本金189億899万円、剰余金4億9,960万円である。

(4) 正味運転資本

平成18年度末の正味運転資本(38億6,870万円)は、前年度末より2億8,289万円減少している。

正味運転資本の減少要因は、資金の源泉となる減価償却費(9億4,616万円)、企業債の発行(1億2,000万円)、固定資産除却費(2,321万円)、受贈財産評価額の増加(231万円)の合計(10億9,168万円)が、資金の運用である企業債償還金(9億7,748万円)と固定資産の増加(1億9,716万円)及び当期純損失(1億9,994万円)の合計(13億7,457万円)を下回ったことによるものである。

(単位：円)

運 用		源 泉	
企 業 債 償 還 金	977,475,281	減 価 償 却 費	946,155,967
固 定 資 産 の 増 加	197,163,032	企 業 債 の 発 行	120,000,000
当 期 純 損 失	199,935,773	固 定 資 産 除 却 費	23,214,049
		受贈財産評価額の増加	2,313,878
		正味運転資本減少額	282,890,192
合 計	1,374,574,086	合 計	1,374,574,086

参 考 資 料

1 比較損益計算書

区 分 科 目	平成18年度		平成17年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	対医業 収益比	金 額 (b)	対医業 収益比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
	円	%	円	%	円	%
1 医 業 収 益 (A)	3,596,305,400	100.0	3,856,864,049	100.0	260,558,649	6.8
(1) 入 院 収 益	2,691,448,854	74.8	2,950,089,821	76.5	258,640,967	8.8
(2) 外 来 収 益	800,406,055	22.3	804,083,891	20.8	3,677,836	0.5
(3) そ の 他 医 業 収 益	104,450,491	2.9	102,690,337	2.7	1,760,154	1.7
2 医 業 費 用 (B)	6,855,120,978	190.6	6,823,100,606	176.9	32,020,372	0.5
(1) 給 与 費	3,739,613,014	104.0	3,668,649,455	95.1	70,963,559	1.9
(2) 材 料 費	770,533,637	21.4	806,970,918	20.9	36,437,281	4.5
(3) 経 費	1,264,281,673	35.2	1,265,148,919	32.8	867,246	0.1
(4) 減 価 償 却 費	946,155,967	26.3	943,720,498	24.5	2,435,469	0.3
(5) 資 産 減 耗 費	24,194,052	0.7	33,877,057	0.9	9,683,005	28.6
(6) 研 究 研 修 費	110,342,635	3.1	104,733,759	2.7	5,608,876	5.4
医 業 利 益 (損 失) (A) - (B) = (C)	3,258,815,578	90.6	2,966,236,557	76.9	292,579,021	-
3 医 業 外 収 益 (D)	3,672,436,560	102.1	3,799,254,517	98.5	126,817,957	3.3
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	4,626,848	0.1	2,827,987	0.1	1,798,861	63.6
(2) 他 会 計 補 助 金	3,527,933,000	98.1	3,650,369,000	94.6	122,436,000	3.4
(3) 負 担 金 及 び 交 付 金	97,773,986	2.7	100,942,062	2.6	3,168,076	3.1
(4) そ の 他 医 業 外 収 益	42,102,726	1.2	45,115,468	1.2	3,012,742	6.7
4 医 業 外 費 用 (E)	613,556,755	17.1	663,272,631	17.2	49,715,876	7.5
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	485,804,265	13.5	515,573,446	13.4	29,769,181	5.8
(2) 雑 支 出	116,214,881	3.2	125,199,125	3.2	8,984,244	7.2
(3) 雑 損 失	11,537,609	0.3	22,500,060	0.6	10,962,451	48.7
経 常 利 益 (損 失) (C) + (D) - (E) = (F)	199,935,773	5.6	169,745,329	4.4	369,681,102	217.8
当 年 度 純 利 益 (損 失) (G)	199,935,773	5.6	169,745,329	4.4	369,681,102	217.8
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (欠 損 金) (H)	0	0.0	0	0.0	0	-
当 年 度 末 処 分 利 益 剰 余 金 (欠 損 金)	199,935,773	5.6	169,745,329	4.4	369,681,102	217.8
収 益 合 計 (A) + (D)	7,268,741,960	202.1	7,656,118,566	198.5	387,376,606	5.1
費 用 合 計 (B) + (E)	7,468,677,733	207.7	7,486,373,237	194.1	17,695,504	0.2

2 比較貸借対照表

区 分 科 目		平成 1 8 年度		平成 1 7 年度		対前年度比較	
		金 額 (a)	構成比	金 額 (b)	構成比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
資 産 の 部	1 固 定 資 産	円 %		円 %		円 %	
	(1) 有形固定資産	15,539,892,601	78.2	16,312,099,585	78.0	772,206,984	4.7
	ア 土地	15,034,002,435	75.6	15,806,209,419	75.5	772,206,984	4.9
	イ 建物	2,993,031,543	15.1	2,993,031,543	14.3	0	0.0
	減価償却累計額 ()	19,867,945,536	100.0	19,867,945,536	95.0	0	0.0
	ウ 構築物	9,470,936,462	47.7	8,850,222,993	42.3	620,713,469	7.0
	減価償却累計額 ()	631,445,612	3.2	631,445,612	3.0	0	0.0
	エ 機械・備品	367,195,695	1.8	349,506,803	1.7	17,688,892	5.1
	減価償却累計額 ()	7,777,260,137	39.1	8,044,377,960	38.4	267,117,823	3.3
	オ 車両	6,420,236,607	32.3	6,553,549,807	31.3	133,313,200	2.0
	減価償却累計額 ()	52,932,020	0.3	52,932,020	0.3	0	0.0
	カ 建設仮勘定	30,243,649	0.2	30,243,649	0.1	0	0.0
	キ 建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(2) 無形固定資産	6,140,166	0.0	6,140,166	0.0	0	0.0
	ア 電話加入権	6,140,166	0.0	6,140,166	0.0	0	0.0
	(3) 投資資産	499,750,000	2.5	499,750,000	2.4	0	0.0
	ア 投資有価証券	499,750,000	2.5	499,750,000	2.4	0	0.0
	2 流動資産	4,333,818,177	21.8	4,611,803,174	22.0	277,984,997	6.0
	(1) 現金・預金	3,689,142,320	18.6	3,968,535,600	19.0	279,393,280	7.0
負 債 の 部	(2) 未収金	602,934,293	3.0	622,752,104	3.0	19,817,811	3.2
	ア 医業未収金	600,243,462	3.0	620,470,705	3.0	20,227,243	3.3
	イ 医業外未収金	2,644,958	0.0	2,271,899	0.0	373,059	16.4
	ウ その他未収金	45,873	0.0	9,500	0.0	36,373	382.9
	(3) 貯蔵品	41,741,564	0.2	20,515,470	0.1	21,226,094	103.5
	ア 薬品	29,455,172	0.1	10,781,902	0.1	18,673,270	173.2
	イ 診療材料	12,286,392	0.1	9,733,568	0.0	2,552,824	26.2
	(4) その他流動資産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	資 産 合 計	19,873,710,778	100.0	20,923,902,759	100.0	1,050,191,981	5.0
	3 流動負債	465,119,359	2.3	460,214,164	2.2	4,905,195	1.1
負 債 の 部	(1) 未払金	401,472,206	2.0	394,038,400	1.9	7,433,806	1.9
	ア 医業未払金	363,328,154	1.8	357,711,052	1.7	5,617,102	1.6
	イ その他未払金	38,144,052	0.2	36,327,348	0.2	1,816,704	5.0
	(2) 未払費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(3) その他流動負債	63,647,153	0.3	66,175,764	0.3	2,528,611	3.8
	ア 預り金	37,309,522	0.2	42,997,695	0.2	5,688,173	13.2
	イ 前受金	26,337,631	0.1	23,178,069	0.1	3,159,562	13.6
本 部	負 債 合 計	465,119,359	2.3	460,214,164	2.2	4,905,195	1.1
	4 資本金	18,908,992,352	95.1	19,596,722,304	93.7	687,729,952	3.5
	(1) 自己資本金	5,500,092,845	27.7	5,330,347,516	25.5	169,745,329	3.2
	(2) 借入資本金	13,408,899,507	67.5	14,266,374,788	68.2	857,475,281	6.0
	ア 企業債	13,408,899,507	67.5	14,266,374,788	68.2	857,475,281	6.0
	5 剰余金	499,599,067	2.5	866,966,291	4.1	367,367,224	42.4
	(1) 資本剰余金	699,534,840	3.5	697,220,962	3.3	2,313,878	0.3
	ア 受贈財産評価額	5,234,634	0.0	2,920,756	0.0	2,313,878	79.2
	イ 他会計補助金	40,775,150	0.2	40,775,150	0.2	0	0.0
	ウ 寄附金	25,064,056	0.1	25,064,056	0.1	0	0.0
	エ その他資本剰余金	628,461,000	3.2	628,461,000	3.0	0	0.0
	(2) 利益剰余金 (欠損金)	199,935,773	1.0	169,745,329	0.8	369,681,102	217.8
	ア 繰越利益剰余金 (繰越欠損金)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	イ 当年度純利益 (純損失)	199,935,773	1.0	169,745,329	0.8	369,681,102	217.8
	資 本 合 計	19,408,591,419	97.7	20,463,688,595	97.8	1,055,097,176	5.2
	負 債 資 本 合 計	19,873,710,778	100.0	20,923,902,759	100.0	1,050,191,981	5.0

3 経営分析表

項 目	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	算 式 等
自己資本構成比率	%	28.1	29.6	30.2	(自己資本金 + 剰余金) ÷ 総資本 × 100
固定資産対長期資本比率	%	78.1	79.7	80.1	固定資産 ÷ (資本金 + 剰余金 + 固定負債) × 100
流動比率	%	1,124.5	1,002.1	931.8	流動資産 ÷ 流動負債 × 100
減価償却率	%	6.9	6.9	7.3	減価償却費 ÷ (固定資産 - 土地 + 減価償却費) × 100
未収金回転率	回	6.0	6.2	5.9	医業収益 ÷ ((期首未収金 + 期末未収金) ÷ 2)
医業収支比率	%	55.6	56.5	52.5	医業収益 ÷ 医業費用 × 100
利子負担率	%	3.7	3.6	3.6	支払利息及び企業債取扱諸費 ÷ 企業債 × 100

自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）に対する自己資本（自己資本金 + 剰余金）の割合であり、この割合が高いほど財政基盤は安定している。

固定資産対長期資本比率は、固定資産が長期調達資金でどの程度補填されているかを表しており、100%以下であることが必要で、低いほど長期的な財政の健全性が高いことを示している。

流動比率は、短期的（1年以内）の支払能力を表す。通常100%を上回る必要があり、高いほど経営の安全性と信頼度が高いといわれる。

減価償却率は、機械、設備等減価償却を伴う資産の当年度における減価償却率で、長期間の推移をみることにより、稼働中の機械、設備等の耐久度を推測する。

未収金回転率は、未収金が収益によって何回転しているかを表しており、数値が大きいほど未収期間が短く、未収金が早く回収されていることを示す。

医業収支比率は、医療活動に要する費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示しており、この比率が高いほど、収益性が良いことを表す。

利子負担率は、企業債等借入金全体の利率の水準を示す。

〔 脳 血 管 研 究 セ ン タ ー 〕

〔脳血管研究センター〕

1 事業の概況

脳血管研究センターは、脳血管障害に関連する研究及び医療を行う機関として6研究部門、6診療科（160床）で運営されている。ただし、平成11年度からそれまでの稼働実績に合わせて病床を120床とし、それに対応した診療体制をとっている。

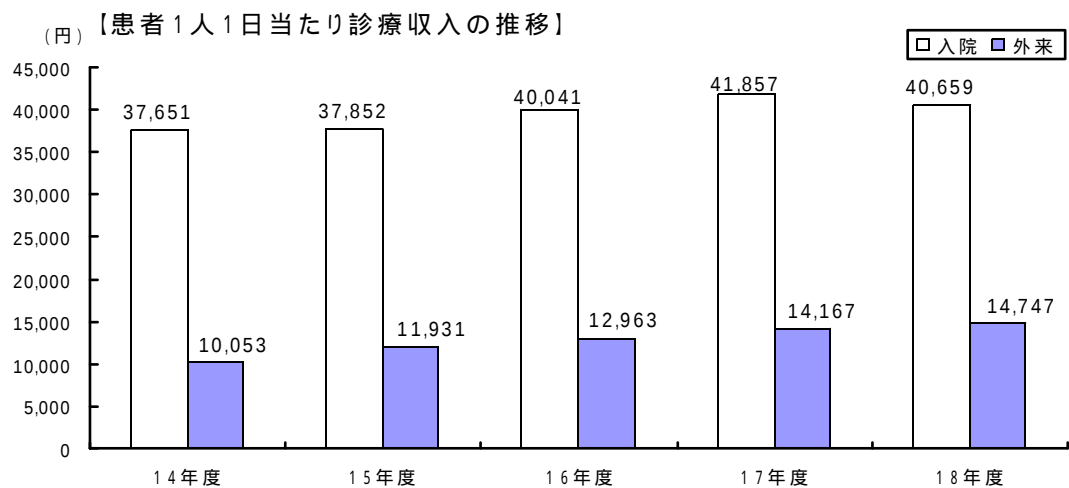
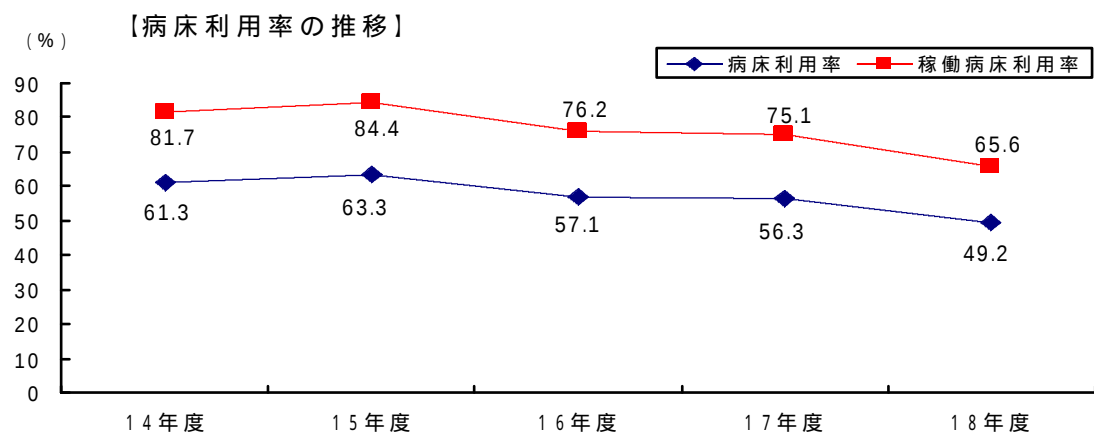
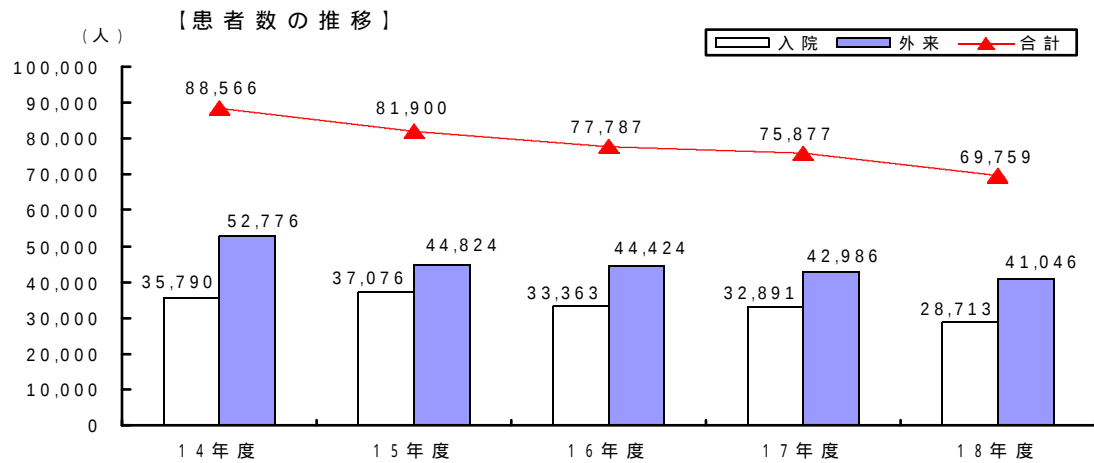
（1）患者の利用状況等

平成18年度の患者数は、入院患者が28,713人、外来患者が41,046人で、全体では69,759人となっている。前年度に比較し入院患者が4,178人（12.7％）の減少、外来患者が1,940人（4.5％）の減少で、全体では6,118人（8.1％）減少している。入院患者の減少に伴い病床利用率は49.2％と、前年度に比較し7.1ポイント低くなっている。

また、実際の稼働病床（120床）でみた病床利用率は65.6％で、前年度に比較し9.5ポイント低くなっている。

患者1人1日当たり診療収入は、入院が40,659円、外来が14,747円で、前年度に比較して、入院で1,198円（2.9％）減少し、外来で580円（4.1％）増加している。

区 分		単位	平成18年度	平成17年度	対前年度比較	
			(A)	(B)	(A)-(B)	(A)/(B)(%)
病 床 数		床	160	160	0	100.0
うち稼働病床数		床	120	120	0	100.0
患 者 延 数		人	69,759	75,877	6,118	91.9
	入 院	人	28,713	32,891	4,178	87.3
	外 来	人	41,046	42,986	1,940	95.5
1日平均患者数	入 院	人	78.7	90.1	11.4	87.3
	外 来	人	167.5	176.2	8.7	95.1
外来／入院患者比率		％	143.0	130.7	12.3	
病 床 利 用 率		％	49.2	56.3	7.1	
稼働病床利用率		％	65.6	75.1	9.5	
患者1人1日 当たり診療収入	入 院	円	40,659	41,857	1,198	97.1
	外 来	円	14,747	14,167	580	104.1



(2) 医療研究の状況

県民医療の向上に資するため、脳血管障害及び関連疾患の病態解明とその治療法の確立などの研究を進めており、その成果については、広く県内外において論文・研究発表等を行っているとともに、当センターの患者の検査や治療に貢献している。

(単位：件)

区 分	論文発表	研究発表
平成18年度	58	136
平成17年度	57	156

(3) 医療機器等の整備状況

コンピュータを通じて患者のカルテの管理や医師と医事会計課、検査機関、薬局等との情報を共有し、利便性を高め、業務の効率を上げるため、医事会計システムの更新を行っている。

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	当年度増加額	当年度減少額	当年度末現在額
医 療 機 器	1,018,907,807	117,509,632	235,481,869	900,935,570
看護用備品	28,260,757	959,000	4,420,882	24,798,875
計	1,047,168,564	118,468,632	239,902,751	925,734,445

(4) 職員の配置状況

平成18年度末の定数内職員数は187名で、前年度より7名減少（医師4名減、医療技術員1名減、看護職員2名減、定数外職員が5名増）している。

(単位：人、%)

区 分		平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	対前年度比較	
				(A)-(B)	(A)/(B)
職 種 別	医 師	18 (10)	22 (6)	4 (4)	81.8
	医療技術員	35	36	1	97.2
	看護職員	112	114	2	98.2
	事務職員	16	16	0	100
	その他職員	6 (30)	6 (29)	0 (1)	100
計		187 (40)	194 (35)	7 (5)	96.4

() は非常勤職員及び臨時的任用職員（職種は医師以外はその他職員としている）で外書、比率は定数内職員のみと比較である。

2 予算及び決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

事業収益は、予算額36億4,238万円に対し、決算額35億799万円（収入率96.3%）で、1億3,438万円の減少となっている。

内容は、医業収益1億3,240万円、及び医業外収益198万円の減である。

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮受消費税等)
1 款 事 業 収 益	3,642,378,000	3,507,994,845	96.3	134,383,155	5,165,047
1 項 医 業 収 益	2,000,205,000	1,867,804,557	93.4	132,400,443	4,527,090
2 項 医 業 外 収 益	1,642,173,000	1,640,190,288	99.9	1,982,712	637,957

イ 支出

事業費用は予算額37億1,869万円に対し、決算額36億2,471万円（執行率97.5%）で、9,397万円の減少となっている。

（単位：円、%）

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
1 款 事 業 費 用	3,718,688,000	3,624,714,710	97.5	93,973,290	43,590,269
1 項 医 業 費 用	3,536,483,000	3,445,485,792	97.4	90,997,208	43,580,753
2 項 医業外費用	180,205,000	179,228,918	99.5	976,082	9,516
3 項 予 備 費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	

（2）資本的収入及び支出

ア 収入

資本的収入は、予算額1億2,100万円に対し、決算額1億2,000万円（収入率99.2%）で、100万円の減少となっている。

イ 支出

資本的支出は、予算額7億560万円に対し、決算額7億379万円（執行率99.7%）で、182万円の減少となっている。

支出の内容は、建設改良費1億2,667万円、企業債償還金5億7,712万円である。

（資本的収入）

（単位：円、%）

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
1 款 資 本 的 収 入	121,000,000	120,000,000	99.2	1,000,000	
1 項 企 業 債	121,000,000	120,000,000	99.2	1,000,000	

（資本的支出）

（単位：円、%）

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税)
1 款 資 本 的 支 出	705,602,000	703,786,695	99.7%	1,815,305	6,026,535
1 項 建 設 改 良 費	128,481,000	126,666,289	98.6	1,814,711	6,026,535
2 項 企 業 債 償 還 金	577,121,000	577,120,406	99.9	594	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額5億8,379万円（注）は、全額を過年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

（注）1億2,000万円 - 7億379万円 = 5億8,379万円

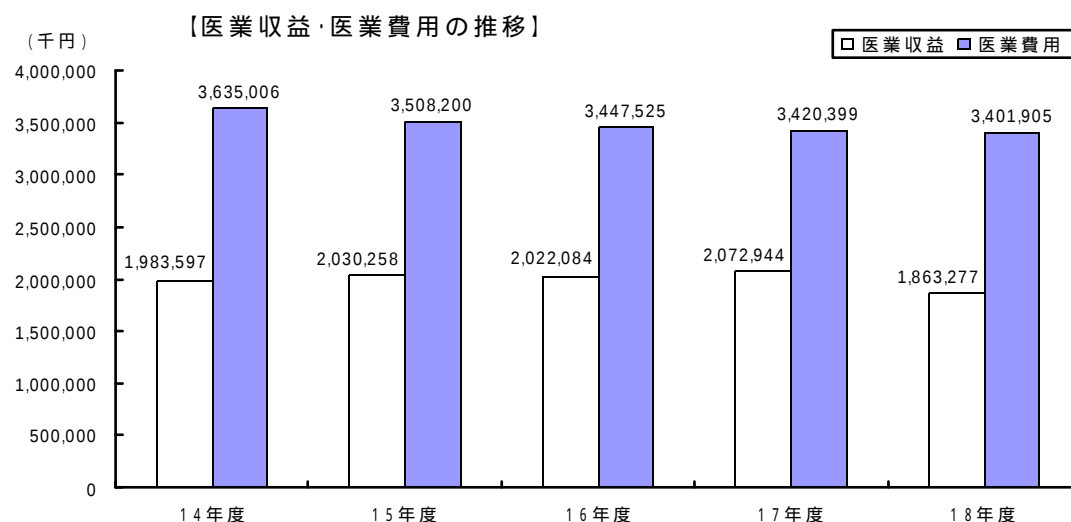
3 経営成績（損益計算書）

平成18年度の医業収益は18億6,328万円、医業費用は34億191万円で差し引き15億3,863万円の医業損失となっている。

医業収益は入院収益及び外来収益が前年度に比較して、それぞれ2億929万円、370万円減少したことから医業収益全体で2億967万円減少している。

医業費用は、給与費（1,612万円）等が増加したものの、材料費の減少（3,153万円）、減価償却費の減少(643万円)などにより、前年度より1,849万円の減少となっている。

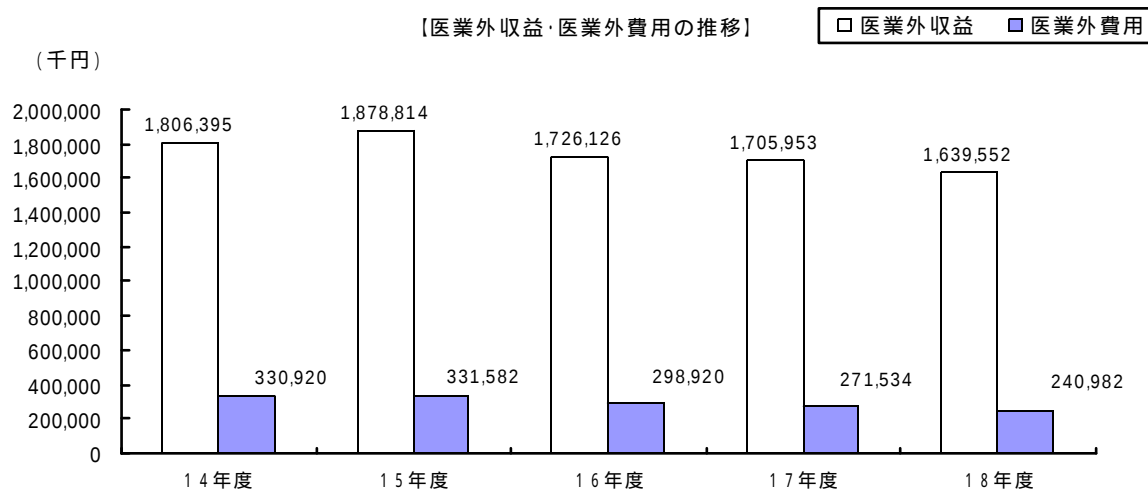
この結果、医業損失は、入院収益が大きく落ち込んだことにより、前年度より1億9,117万円増加している。

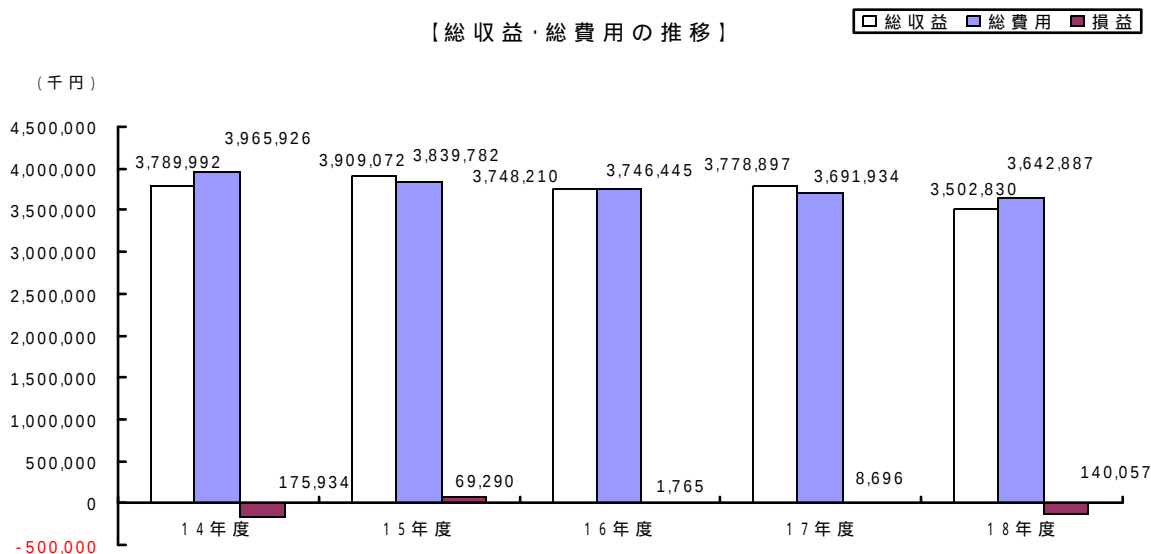


医業外収益は、総額16億3,955万円の内、他会計補助金が16億1,300万円で、前年度に比較して6,107万円減少したことより、医業外収益は総額6,640万円の減少となっている。

また、医業外費用は総額で2億4,098万円となっており、前年度より3,055万円減少している。

この結果、当年度は損益全体で、前年度の8,696万円の純利益から1億4,006万円の純損失となっている。





4 剰余金計算書

(1) 利益剰余金

平成18年度末処理欠損金は、前年度繰越欠損金7,296万円に当年度純損失1億4,006万円を加えた2億1,302万円である。

(2) 資本剰余金

当年度の資本剰余金は、前年度から繰り越された受贈財産評価額292万円、建設改良費の財源として受け入れた寄附金2,506万円、他会計補助金4,078万円に当年度発生分の受贈財産評価額31万円を加えた6,907万円で、この全額を翌年度に繰り越している。

5 欠損金処理計算書

平成18年度末処理欠損金 2億1,302万円は、繰越欠損金として全額を翌年度に繰り越すことにしている。

6 財政状態（貸借対照表）

(1) 資産

資産の部の総額は59億2,382万円で、前年度末に比較し、5億8,743万円（9.0％）の減少となっている。

これは現金・預金の減少（3億1,669万円）等によって流動資産が3億3,391万円減少したことと、減価償却によって固定資産が2億5,352万円減少したことによるものである。

また、未収金の内容は、医業未収金2億9,719万円（診療報酬請求分等）、医業外未収金222万円となっている。未収金の大半を占める医業未収金は前年度と比較して2,225万円（7.0％）減少している。

なお、資産の内容は、固定資産48億1,044万円、流動資産11億1,338万円である。

(2) 負債

負債の部の総額は2億8,774万円で、前年度末に比較し943万円(3.4%)増加している。

負債増加の要因は、未払金の1,159万円(5.2%)及び前受金の316万円(13.6%)によるものである。

なお、負債は全額が流動負債である。

(3) 資本

資本の部の総額は56億3,608万円で、前年度末に比較し5億9,686万円(9.6%)の減少となっている。

資本の部の減少要因は、企業債の償還によって借入資本金が4億5,712万円減少したことと当期損失の計上によるものである。

資本の内容は、資本金57億8,003万円、剰余金 1億4,395万円である。

(4) 正味運転資本

平成18年度末の正味運転資本(8億2,565万円)は、前年度末より3億4,334万円減少している。

正味運転資本の減少要因は、資金の源泉となる企業債の発行(1億2,000万円)、減価償却費(3億7,013万円)、固定資産除却費(435万円)、受贈財産評価額の増加(31万円)の合計(4億9,479万円)が資金の運用である企業債償還金(5億7,712万円)と固定資産の増加(1億2,095万円)及び当期純損失(1億4,006万円)の合計(8億3,813万円)を下回ったことによるものである。

(単位:円)

運 用		源 泉	
企業債償還金	577,120,406	企業債の発行	120,000,000
固定資産の増加	120,953,632	減価償却費	370,129,433
当期純損失の増加	140,057,404	固定資産除却損	4,346,065
		受贈財産評価額の増加	313,878
		正味運転資本減少額	343,342,066
合 計	838,131,442	合 計	838,131,442

7 経営状況の全国比較

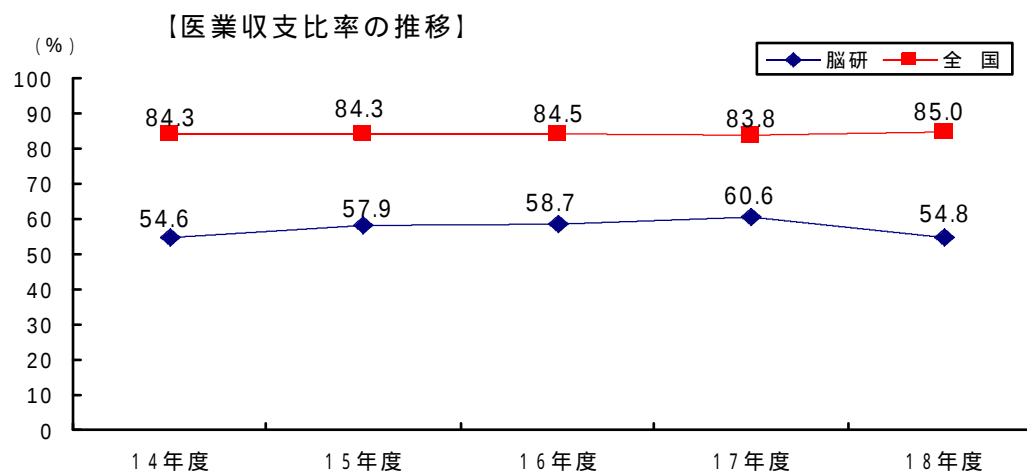
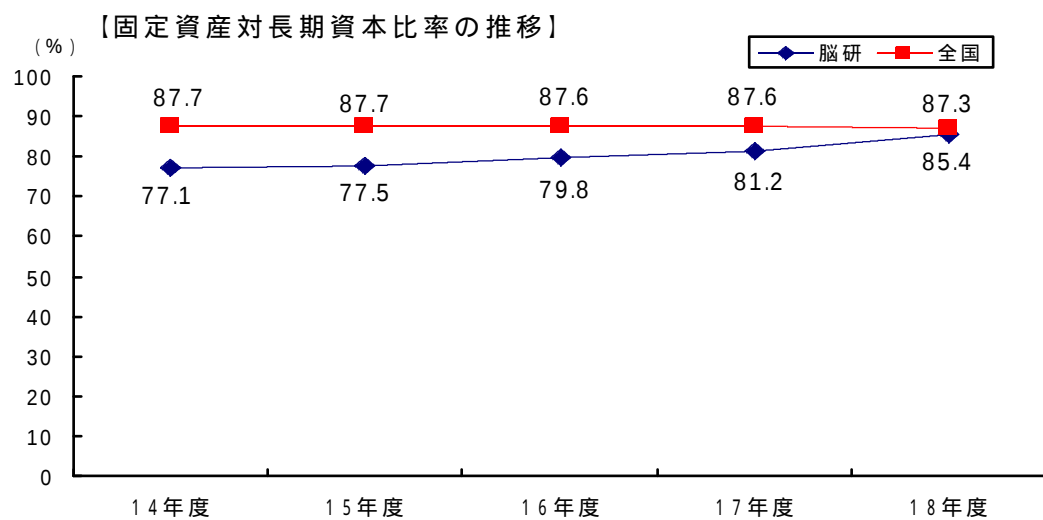
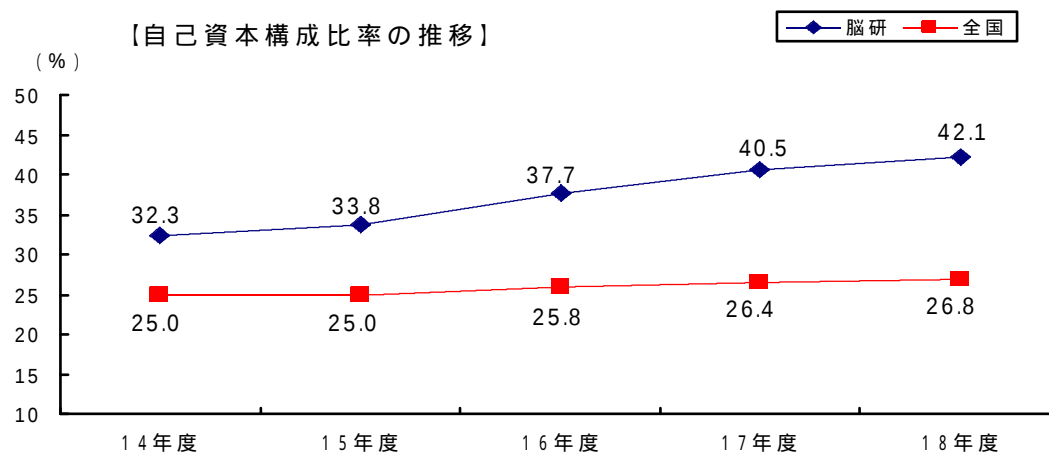
医療内容等の違いから単純には比較できないが、研究部門を除いた経営の状況を全国(『地方公営企業年鑑(平成18年度総務省調査)』「類似規模病院、病床数100床以上200床未満」(ただし、財務関係比率は「都道府県立の全病院」)の平均。以下同じ。)と比較すると次のとおりである。

財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、42.1%で、全国の26.8%を15.3ポイント上回っている。

財政基盤の長期健全性を示す固定資産対長期資本比率は、85.4%で、全国の87.3%を下回っている。

医療費用に対する医療収益の割合を示す医療収支比率は、54.8%で、全国の85.0%を下回っている。

企業債の利子負担率は5.5%で、高金利の企業債残高が多いこともあって全国の2.8%を上回っている。



患者数についてみると、医師 1 人 1 日当たり患者数は、入院が4.5人、外来が6.4人で、全国に比べ、入院で4.2人、外来で10.7人少ない。また、看護職員 1 人 1 日当たり患者数は、入院が0.7人、外来が0.9人で、全国に比べ、入院で0.6人、外来で1.7人少ない。

収入についてみると、患者 1 人 1 日当たり診療収入は、入院が40,659円、外来が14,747円で、全国のそれぞれ26,614円、8,023円を上回っている。一方、職員 1 人 1 日当たり診療収入は、医師が275,356円、看護職員が40,942円となっており、全国の368,291円、55,549円のそれぞれ74.8%、73.7%と低い水準にとどまっている。

費用についてみると、患者 1 人 1 日当たりの薬品費では、投薬は3,181円、注薬は1,458円となっており、全国の1,082円、987円を上回っている。

薬品使用効率でみると、投薬が110.3%、注薬が105.6%と全国の121.7%、118.9%をそれぞれ下回っている。

医業収益に対する職員給与費の割合は79.4%で、全国の54.5%を上回っている。

検査（外部委託検査を含む。）の状況については、検査技師 1 人当たりの年間検査件数は32,400件、検査収入は15,471千円で、全国の59,166件、38,326千円のそれぞれ54.8%、40.4%となっている。また、放射線技師 1 人当たりの年間放射線件数は2,915件で、全国の7,917件の36.8%となっており、放射線技師 1 人当たりの年間放射線収入は35,568千円で、全国の24,546千円を44.9%上回っている。

稼働病床100床当たり職員数（外部委託をしている給食部門を除く。）は151.9人で、全国の96.3人に比べ1.58倍と多くなっているが、前年比では5.6人減少している。

職種別では医師1.60倍、看護部門1.67倍、薬剤部門1.10倍、事務部門1.31倍、放射線部門2.39倍、臨床検査部門2.0倍となっている。

参 考 資 料

1 比較損益計算書

脳血管研究センター

区 分 科 目	平成18年度		平成17年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	対医業 収益比	金 額 (b)	対医業 収益比	(a)-(b)	$\frac{(a)-(b)}{(b)}$
	円	%	円	%	円	%
1 医 業 収 益 (A)	1,863,277,467	100.0	2,072,944,078	100.0	209,666,611	10.1
(1) 入 院 収 益	1,167,439,152	62.7	1,376,730,287	66.4	209,291,135	15.2
(2) 外 来 収 益	605,301,082	32.5	608,996,750	29.4	3,695,668	0.6
(3) そ の 他 医 業 収 益	90,537,233	4.9	87,217,041	4.2	3,320,192	3.8
2 医 業 費 用 (B)	3,401,905,039	182.6	3,420,399,466	165.0	18,494,427	0.5
(1) 給 与 費	1,802,929,976	96.8	1,786,810,813	86.2	16,119,163	0.9
(2) 材 料 費	543,244,443	29.2	574,774,028	27.7	31,529,585	5.5
(3) 経 費	583,395,044	31.3	586,643,304	28.3	3,248,260	0.6
(4) 減 価 償 却 費	370,129,433	19.9	376,555,730	18.2	6,426,297	1.7
(5) 資 産 減 耗 費	4,715,218	0.3	4,442,976	0.2	272,242	6.1
(6) 研 究 研 修 費	97,490,925	5.2	91,172,615	4.4	6,318,310	6.9
医 業 利 益 (損 失) (A) - (B) = (C)	1,538,627,572	82.6	1,347,455,388	65.0	191,172,184	-
3 医 業 外 収 益 (D)	1,639,552,331	88.0	1,705,953,402	82.3	66,401,071	3.9
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	396,027	0.0	304,404	0.0	91,623	30.1
(2) 他 会 計 補 助 金	1,613,000,000	86.6	1,674,066,000	80.8	61,066,000	3.6
(3) 負 担 金 及 び 交 付 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(4) そ の 他 医 業 外 収 益	26,156,304	1.4	31,582,998	1.5	5,426,694	17.2
4 医 業 外 費 用 (E)	240,982,163	12.9	271,534,217	13.1	30,552,054	11.3
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	171,474,056	9.2	189,609,691	9.1	18,135,635	9.6
(2) 雑 支 出	64,544,861	3.5	73,559,043	3.5	9,014,182	12.3
(3) 雑 損 失	4,963,246	0.3	8,365,483	0.4	3,402,237	40.7
経 常 利 益 (損 失) (C) + (D) - (E) = (F)	140,057,404	7.5	86,963,797	4.2	227,021,201	261.1
当 年 度 純 利 益 (損 失) (G)	140,057,404	7.5	86,963,797	4.2	227,021,201	261.1
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (欠 損 金) (H)	72,964,886	3.9	159,928,683	7.7	86,963,797	-
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (欠 損 金)	213,022,290	11.4	72,964,886	3.5	140,057,404	-
収 益 合 計 (A) + (D)	3,502,829,798	188.0	3,778,897,480	182.3	276,067,682	7.3
費 用 合 計 (B) + (E)	3,642,887,202	195.5	3,691,933,683	178.1	49,046,481	1.3

2 比較貸借対照表

脳血管研究センター

区 分 科 目		平成 18 年度		平成 17 年度		対前年度比較	
		金 額 (a)	構成比	金 額 (b)	構成比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
資 産 の 部	1 固 定 資 産	円	%	円	%	円	%
	(1)有 形 固 定 資 産	4,810,435,276	81.2	5,063,957,142	77.8	253,521,866	5.0
	ア 土 地	4,807,411,478	81.2	5,060,933,344	77.7	253,521,866	5.0
	イ 建 物	1,054,497,900	17.8	1,054,497,900	16.2	0	0.0
	減価償却累計額 ()	7,325,764,063	123.7	7,325,764,063	112.5	0	0.0
	ウ 構 築 物	4,615,339,073	77.9	4,487,635,582	68.9	127,703,491	2.8
	減価償却累計額 ()	275,363,675	4.6	275,363,675	4.2	0	0.0
	工 器 械 ・ 備 品	219,195,514	3.7	216,306,631	3.3	2,888,883	1.3
	減価償却累計額 ()	5,282,827,553	89.2	5,248,795,221	80.6	34,032,332	0.6
	オ 車 両	4,317,941,442	72.9	4,160,979,618	63.9	156,961,824	3.8
	減価償却累計額 ()	27,850,920	0.5	27,850,920	0.4	0	0.0
	カ 建 設 仮 勘 定	6,416,604	0.1	6,416,604	0.1	0	0.0
	(2)無 形 固 定 資 産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ア 電 話 加 入 権	3,023,798	0.1	3,023,798	0.0	0	0.0
	(3)投 資 有 価 証 券	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ア 投 資 有 価 証 券	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2 流 動 資 産	1,113,383,730	18.8	1,447,295,785	22.2	333,912,055	23.1
	(1)現 金 ・ 預 金	790,882,548	13.4	1,107,570,831	17.0	316,688,283	28.6
	(2)未 収 金	299,414,654	5.1	321,720,419	4.9	22,305,765	6.9
	ア 医 業 未 収 金	297,193,696	5.0	319,448,520	4.9	22,254,824	7.0
	イ 医 業 外 未 収 金	2,220,958	0.0	2,271,899	0.0	50,941	2.2
	ウ そ の 他 未 収 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(3)貯 蔵 品	23,086,528	0.4	18,004,535	0.3	5,081,993	28.2
	ア 薬 品	10,991,538	0.2	8,530,582	0.1	2,460,956	28.8
	イ 診 療 材 料	12,094,990	0.2	9,473,953	0.1	2,621,037	27.7
	(4)そ の 他 流 動 資 産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資 産 合 計		5,923,819,006	100.0	6,511,252,927	100.0	587,433,921	9.0
負 債 の 部	3 流 動 負 債	287,737,377	4.9	278,307,366	4.3	9,430,011	3.4
	(1)未 払 金	234,684,134	4.0	223,089,894	3.4	11,594,240	5.2
	ア 医 業 未 払 金	198,640,334	3.4	187,847,334	2.9	10,793,000	5.7
	イ そ の 他 未 払 金	36,043,800	0.6	35,242,560	0.5	801,240	2.3
	(2)未 払 費 用	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(3)そ の 他 流 動 負 債	53,053,243	0.9	55,217,472	0.8	2,164,229	3.9
	ア 預 り 金	26,715,612	0.5	32,039,403	0.5	5,323,791	16.6
	イ 前 受 金	26,337,631	0.4	23,178,069	0.4	3,159,562	13.6
	負 債 合 計	287,737,377	4.9	278,307,366	4.3	9,430,011	3.4
	4 資 本 金	5,780,030,079	97.6	6,237,150,485	95.8	457,120,406	7.3
資 本 の 部	(1)自 己 資 本 金	2,638,637,342	44.5	2,638,637,342	40.5	0	0.0
	(2)借 入 資 本 金	3,141,392,737	53.0	3,598,513,143	55.3	457,120,406	12.7
	ア 企 業 債	3,141,392,737	53.0	3,598,513,143	55.3	457,120,406	12.7
	5 剰 余 金	143,948,450	2.4	4,204,924	0.1	139,743,526	-
	(1)資 本 剰 余 金	69,073,840	1.2	68,759,962	1.1	313,878	0.5
	ア 受 贈 財 産 評 価 額	3,234,634	0.1	2,920,756	0.0	313,878	10.7
	イ 他 会 計 補 助 金	40,775,150	0.7	40,775,150	0.6	0	0.0
	ウ 寄 附 金	25,064,056	0.4	25,064,056	0.3	0	0.0
	エ その他 資本 剰余金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(2)利 益 剰 余 金 (欠 損 金)	213,022,290	3.6	72,964,886	0.9	140,057,404	-
	ア 繰越利益剰余金 (繰越欠損金)	72,964,886	1.2	159,928,683	2.5	86,963,797	-
	イ 当年度純利益 (純損失)	140,057,404	2.4	86,963,797	1.3	227,021,201	261.1
資 本 合 計		5,636,081,629	95.1	6,232,945,561	95.7	596,863,932	9.6
負 債 資 本 合 計		5,923,819,006	100.0	6,511,252,927	100.0	587,433,921	9.0

3 経営分析表

脳血管研究センター						
項	目	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	全国平均
自己資本構成比率		%	37.7	40.5	42.1	26.8
固定資産対長期資本比率		%	79.8	81.2	85.4	87.3
流動比率		%	590.3	520.0	386.9	210.0
減価償却率		%	9.7	8.6	9.0	5.3
未収金回転率		回	6.1	6.4	6.0	5.8
医業収支比率		%	58.7	60.6	54.8	85.0
利子負担率		%	5.4	5.3	5.5	2.8
病床数		床	120	120	120	
職員数		人	191	194	187	
診療日数	入院	日	365	365	365	
	外来	日	243	244	245	
患者数	年延入院	人	33,363	32,891	28,713	
	年延外来	人	44,424	42,986	41,046	
	計	人	77,787	75,877	69,759	
病床利用率		%	76.2	75.1	65.6	75.6
患者数	1日平均患者数	入院	91.4	90.1	78.7	112.0
		外来	182.8	176.2	167.5	314.0
	外来入院患者比率	%	133.2	130.7	143.0	197.1
	医師1人1日当たり患者数	入院	4.6	4.8	4.5	8.7
		外来	6.2	6.3	6.4	17.1
	看護部門1人1日当たり患者数	入院	0.8	0.8	0.7	1.3
		外来	1.0	1.0	0.9	2.6
収入	患者1人1日当たり診療収入	入院	円 40,041	41,857	40,659	26,614
		外来	円 12,963	14,167	14,747	8,023
		計	円 24,576	26,170	25,412	14,280
	職員1人1日当たり診療収入	医師	円 265,223	288,841	275,356	368,291
		看護	円 44,899	45,309	40,942	55,549
		計	円 3,824	4,489	4,639	2,069
費用	患者1人1日当たり薬品費	投薬	円 2,261	2,774	3,181	1,082
		注薬	円 1,563	1,715	1,458	987
		計	円 3,824	4,489	4,639	2,069
	入院患者1人1日当たり給食材料費		円 731	719	756	381
	薬品使用効率	投薬	% 109.1	107.4	110.3	121.7
		注薬	% 102.9	102.1	105.6	118.9
		計	% 106.6	105.4	108.8	120.4
診療報酬に対する割合	投薬注射収入	%	16.6	18.1	19.9	17.4
	検査収入	%	8.1	7.8	6.9	10.2
	放射線収入	%	15.8	15.7	16.1	5.3
医業収益に対する割合	薬品費	%	16.3	16.4	17.6	13.6
	その他医業材料費	%	11.4	11.3	11.6	8.0
	職員給与費	%	72.7	72.1	79.4	54.5
検査の状況	患者100人当たり検査件数	件	341.7	352.1	366.9	225.2
	患者100人当たり放射線件数	件	30.3	31.4	33.4	24.4
	検査技師1人当たり検査件数	件	33,683	33,822	32,400	59,166
	検査技師1人当たり検査収入	千円	19,662	19,564	15,471	38,326
	放射線技師1人当たり放射線件数	件	2,950	2,982	2,915	7,917
	放射線技師1人当たり放射線収入	千円	37,638	38,968	35,568	24,546
稼働病床100床当たり職員数	医師	人	16.6	15.4	13.6	8.5
	看護部門	人	98.1	102.9	98.3	58.8
	薬剤部門	人	3.1	3.5	3.3	3.0
	事務部門	人	8.7	10.8	11.4	8.7
	給食部門	人	0.8	0.8	0.8	3.7
	放射線部門	人	6.7	6.7	6.7	2.8
	臨床検査部門	人	6.6	6.6	6.6	3.3
	その他	人	12.8	10.8	11.2	7.5
全職員		人	153.3	157.5	151.9	96.3
1床当たり償却資産		千円	33,624	32,716	30,628	16,680

・全国平均は、地方公営企業年鑑（平成18年度総務省調査）の「類似規模病院（病床数100床以上200床未満）」の平成17年度実績である。ただし、財務関係比率は、同年鑑の「都道府県立の全病院」の比率を採用している。

・許可病床数160床での病床利用率は、49.2%である。

・総資本＝負債・資本

・研究部門を除く。

〔リハビリテーション・精神医療センター〕

〔リハビリテーション・精神医療センター〕

1 事業の概況

リハビリテーション・精神医療センターは、リハビリテーション医療、精神医療に関する、高度で専門的な治療・訓練を行い、社会復帰を促進するための中核的な施設としてリハビリテーション科、神経・精神科、歯科及び放射線科の4診療科で運営されている。病床数はリハビリ医療が100床、精神医療が200床（うち認知症病床100床。）となっている。

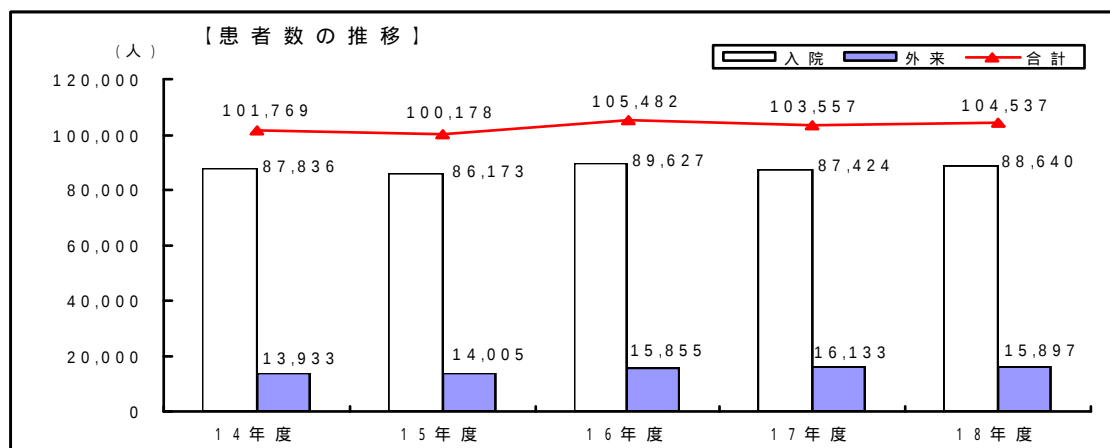
（１）患者の利用状況等

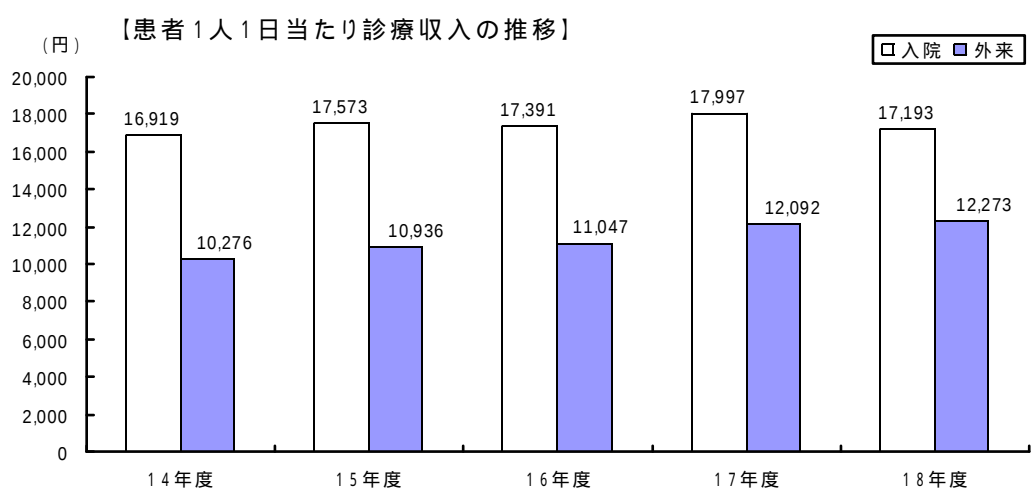
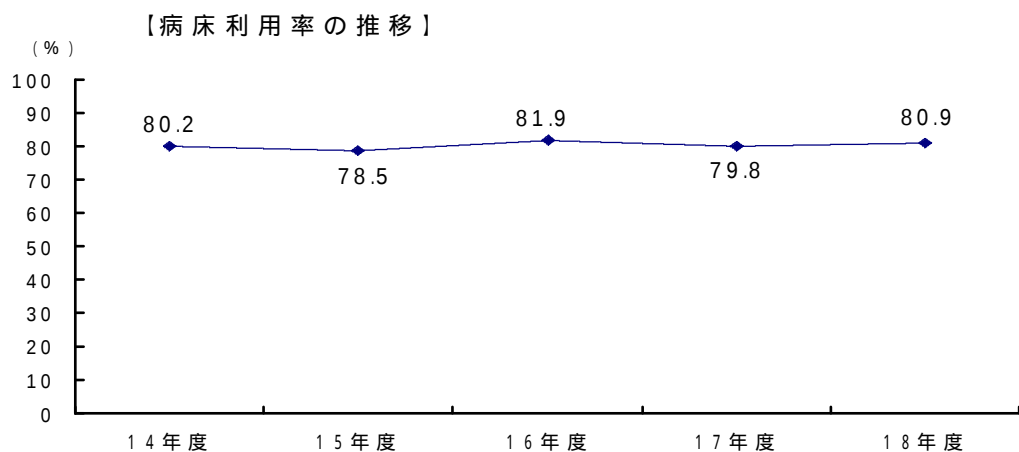
平成18年度の患者数は、入院患者が88,640人、外来患者が15,897人で、全体では104,537人となっている。前年度に比較し入院患者が1,216人（1.4％）の増加、外来患者が236人（1.5％）の減少で、全体では980人（0.9％）増加している。

入院患者の増加に伴い病床利用率は80.9％と、前年度に比較し1.1ポイント高くなっている。

患者1人1日当たり診療収入は、入院が17,193円、外来が12,273円で、前年度に比較し入院で804円（4.5％）減少、外来で181円（1.5％）増加している。

区 分	単位	平成18年度	平成17年度	対前年度比較	
		(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
病 床 数	床	300	300	0	100.0
うち稼働病床数	床	300	300	0	100.0
患 者 延 数	人	104,537	103,557	980	100.9
	入 院	88,640	87,424	1,216	101.4
	外 来	15,897	16,133	236	98.5
1日平均患者数	入 院	242.8	239.5	3.3	101.4
	外 来	64.9	66.1	1.2	98.2
外来／入院患者比率	%	17.9	18.5	0.6	
病 床 利 用 率	%	80.9	79.8	1.1	
患者1人1日 当たり診療収入	入 院	円 17,193	円 17,997	804	95.5
	外 来	円 12,273	円 12,092	181	101.5





(2) 医療機器等の整備状況

より高度な治療を行うため、血液臨床検査の生化学自動分析装置やCT・MRIの医療画像の3次元処理ワークステーション等を設置している。

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	当年度増加額	当年度減少額	当年度末現在額
医療機器等	351,391,991	65,453,000	80,712,561	336,132,430
看護用備品	9,376,347		690,875	8,685,472
計	360,768,338	65,453,000	81,403,436	344,817,902

(3) 職員の配置状況

平成18年度末の定数内職員数は240名で、前年度より2名増加(医師2名増、医療技術員2名増、看護職員3名減、事務職員1名増)している。

このほか、定数外職員が1名増加している。

(単位：人、%)

区 分		平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	対前年度比較	
				(A)-(B)	(A)/(B)
職 種 別	医 師	16 (2)	14 (2)	2	114.3
	医療技術員	48	46	2	104.3
	看護職員	158	161	3	98.1
	事務職員	17	16	1	106.3
	その他職員	1 (27)	1 (26)	0 (1)	100.0
計		240 (29)	238 (28)	2 (1)	100.8

() は非常勤職員及び臨時的任用職員（職種は医師以外はその他の職員としている）で外書、比率は定数内職員のみと比較である。

2 予算及び決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

事業収益は、予算額37億5,706万円に対し、決算額37億6,699万円（収入率100.3%）で、993万円の増加となっている。

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮受消費税等)
	円	円	%	円	円
2 款 事 業 収 益	3,757,060,000	3,766,991,645	100.3	9,931,645	1,079,483
1 項 医 業 収 益	1,722,690,000	1,733,722,420	100.6	11,032,420	694,487
2 項 医 業 外 収 益	2,034,370,000	2,033,269,225	99.9	1,100,775	384,996

イ 支出

事業費用は、予算額38億5,801万円に対し、決算額38億1,364万円（執行率98.9%）で、4,436万円の減少となっている。

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
	円	円	%	円	円
2 款 事 業 費 用	3,858,006,000	3,813,641,343	98.9	44,364,657	38,772,332
1 項 医 業 費 用	3,534,445,000	3,491,988,271	98.8	42,456,729	38,772,332
2 項 医 業 外 費 用	323,561,000	321,653,072	99.4	1,907,928	0

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

資本的収入は計上されていない。

イ 支出

資本的支出は、予算額4億8,532万円に対し、決算額4億7,827万円（執行率98.5%）で、704万円の減少となっている。

支出の内容は、建設改良費（医療機器等購入費等）及び企業債償還金である。

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
2 款 資本的支出	円 485,319,000	円 478,274,745	% 98.5	円 7,044,255	円 3,710,470
1項 建設改良費	84,964,000	77,919,870	91.7	7,044,130	3,710,470
2項 企業債償還金	400,355,000	400,354,875	99.9	125	0

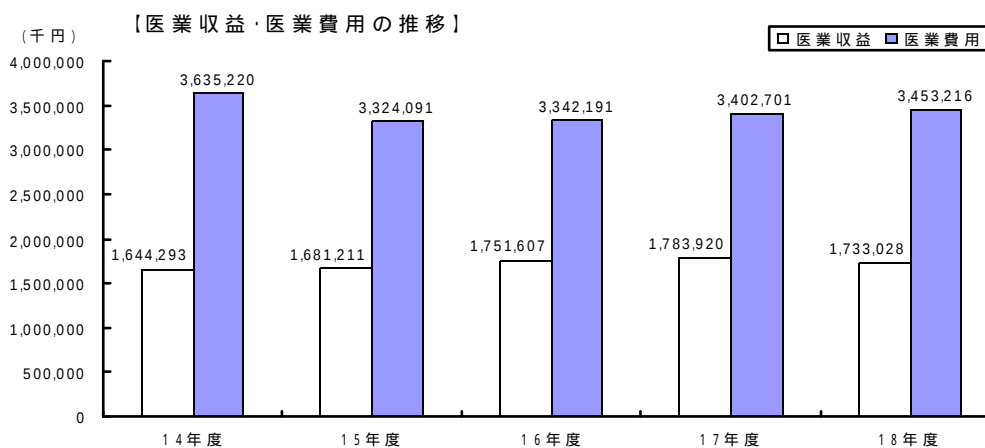
資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億7,827万円は、減債積立金1億6,975万円及び過年度分損益勘定留保資金3億853万円で補てんしている。

3 経営成績(損益計算書)

平成18年度の医業収益は17億3,303万円、医業費用は34億5,322万円で、差し引き17億2,019万円の医業損失となっている。

医業収益は、前年度に比較して外来収益が横ばいであったものの、入院収益が4,935万円と大きく減少したことから医業収益全体で5,089万円減少している。

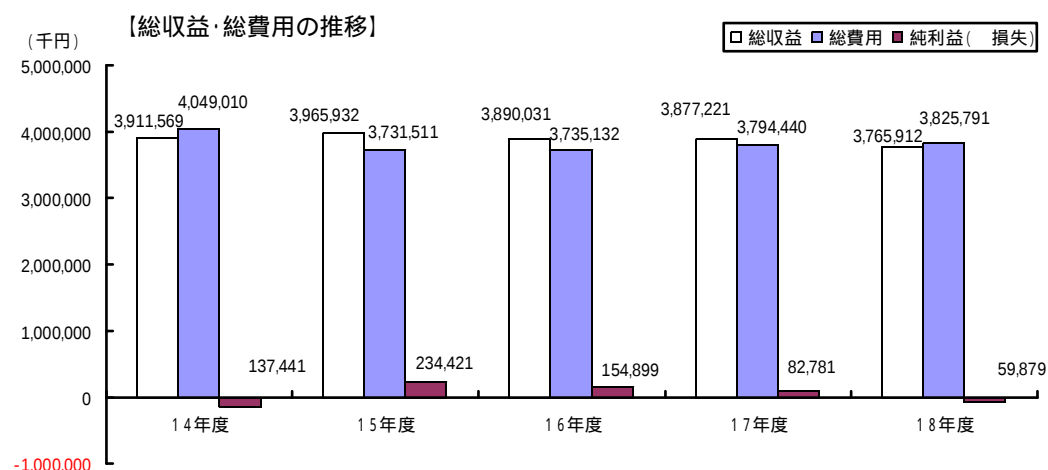
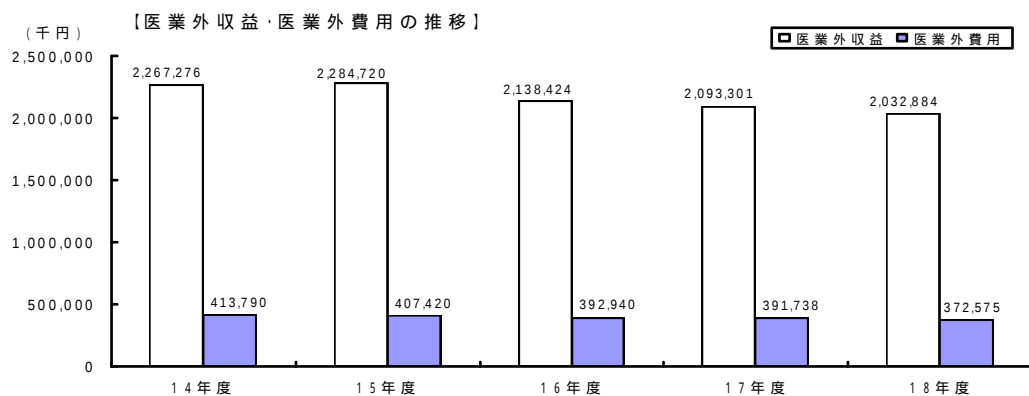
一方、医業費用は医師等職員の増員や定期昇給に伴う給与費の増加（5,484万円）固定資産の減価償却費の増加（886万円）等により、前年度と比較して5,051万円の増加となっている。この結果、医業損失は前年度に比べて1億141万円増加している。



医業外収益は、総額20億3,288万円のうち、他会計補助金が19億1,493万円で、前年度に比較して6,137万円減少したことにより、総額で6,042万円減少している。

また、医業外費用は、総額3億7,257万円のうち、企業債利息が3億1,433万円で、前年度に比較して1,163万円減少したことにより、総額で1,916万円減少している。

このため、損益全体では、前年度の8,278万円の純利益から、当年度は5,988万円の純損失となっている。



4 剰余金計算書

(1) 利益剰余金

平成18年度末処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金7,296万円から当年度純損失5,988万円を引いた1,309万円である。

(2) 資本剰余金

当年度の資本剰余金は、前年度から繰り越された、その他資本剰余金6億2,846万円（国庫補助金5億2,031万円、宝くじ助成金1億815万円）に受贈財産評価額200万円を加えた6億3,046万円で、全額を翌年度へ繰り越している。

5 剰余金処分計算書

平成18年度末処分利益剰余金1,309万円については、全額を繰越利益剰余金として翌年度へ繰り越すこととしている。

6 財政状態（貸借対照表）

(1) 資産

資産の部の総額は139億4,989万円で、前年度末に比較し、4億6,276万円（3.2%）減少している。これは現金預金が増加し、流動資産全体が増加したものの、減価償却や除却により固定資産が減少したことによるものである。

また、未収金の内訳は、医業未収金3億305万円（診療報酬請求分等）、医業外未収金42万

円、その他未収金5万円で合わせて3億352万円となっている。未収金の大半を占める医業未収金は前年度と比較して203万円（0.7%）増加している。

資産の内容は、固定資産107億2,946万円、流動資産32億2,043万円である。

（２）負債

負債の部の総額は1億7,738万円で、前年度末に比較し452万円（2.5%）減少している。

負債減少の内容は、未払金416万円（2.4%）、その他流動負債36万円（3.3%）の減少となっている。

負債は、全額が流動負債である。

（３）資本

資本の部の総額は137億7,251万円で、前年度末に比較し4億5,823万円（3.2%）の減少となっている。

資本の部の減少要因は、企業債の償還によって借入資本金が4億35万円減少したことによるものである。

資本の内容は、資本金131億2,896万円、剰余金6億4,355万円である。

（４）正味運転資本

平成18年度末の正味運転資本（30億4,305万円）は、前年度末より6,045万円増加している。

正味運転資本の増加要因は、資金の源泉となる減価償却費（5億7,603万円）、固定資産除却費（1,887万円）、受贈財産評価額の増加（200万円）の合計（5億9,689万円）が、資金の運用である企業債償還金（4億35万円）、固定資産の増加（7,621万円）、当期純損失（5,988万円）の合計（5億3,644万円）を上回ったことによるものである。

（単位：円）

運 用		源 泉	
企業債償還金	400,354,875	減価償却費	576,026,534
固定資産の増加	76,209,400	固定資産除却費	18,867,984
当期純損失	59,878,369	受贈財産評価額の増加	2,000,000
正味運転資本増加額	60,451,874		
合 計	596,894,518	合 計	596,894,518

7 経営状況の全国比較

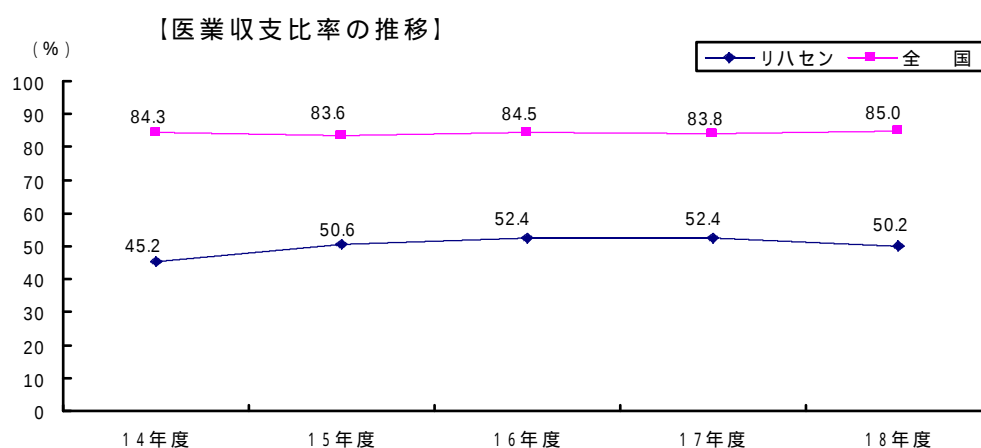
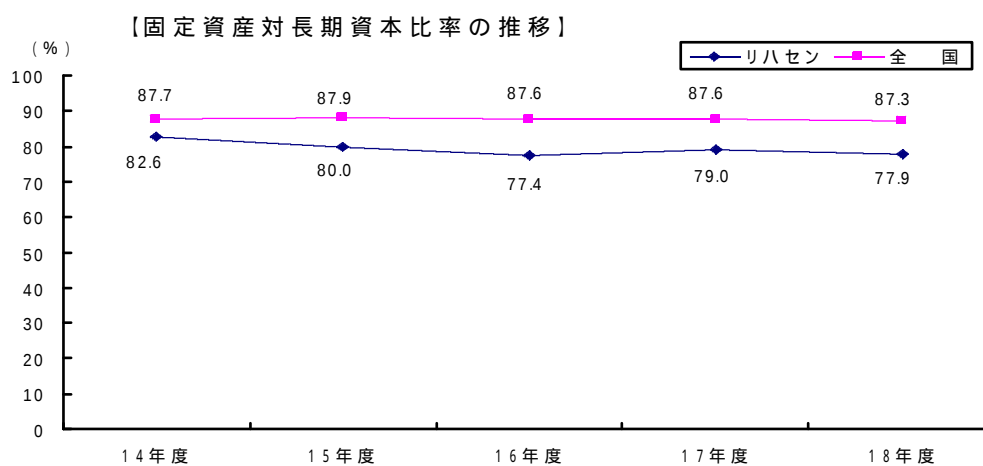
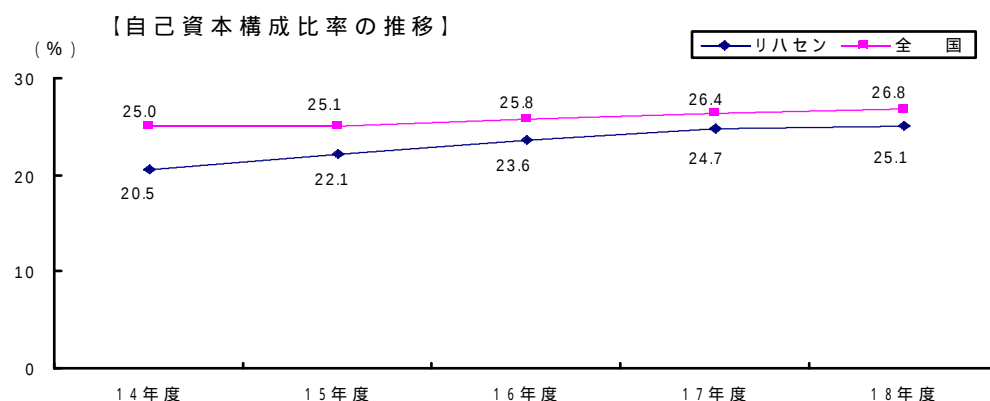
経営状況について、全国（『地方公営企業年鑑（平成18年度総務省調査）』の「精神科病院」（ただし財務関係比率は「都道府県立の全病院」の平均。以下同じ。）と比較すると次のとおりである。

財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、全国（26.8%）には及ばないものの年々改善され、前年度を0.4ポイント上回り25.1%となっている。

財政基盤の長期健全性を示す固定資産対長期資本比率は77.9%で、全国の87.3%より良好である。

医業費用に対する医業収益の割合を示す医業収支比率は50.2%で、前年度を2.2ポイント下

回った。これは、給与費や固定資産の減価償却費の増等によるものであり、全国の85.0%を下回っている。



患者数についてみると、医師1人1日当たり患者数は、入院が16.5人、外来が3.0人で、全国に比べ入院で3.6人、外来で5.4人少ない。また、看護職員1人1日当たり患者数は、入院が1.4人、外来が0.3人で、全国に比べ入院で0.5人、外来で0.5人少ない。

収入についてみると、患者1人1日当たり診療収入は、入院が17,193円、外来が12,273円

で、全国のそれぞれ14,337円、7,883円を上回っている。

一方、職員1人1日当たり診療収入は、医師が319,360円と前年度より減少し、全国の354,285円を下回っており、看護職員も28,104円と前年度より減少し、全国の33,736円を下回っている。

費用について患者1人1日当たり薬品費でみると、投薬が1,416円、注薬が113円で、全国のそれぞれ1,138円、82円を上回っている。これを薬品使用効率でみると、投薬が114.1%、注薬が85.8%で、全国のそれぞれ124.1%、124.1%を下回っている。

医業収益に対する職員給与費の割合は106.3%で前年度より5.7ポイント上昇し、全国の104.8%を上回っている。

検査（外部委託検査を含む。）の状況については、検査技師1人当たりの年間検査件数32,243件、検査収入は13,951千円で、全国の39,368件、15,650千円のそれぞれ81.9%、89.1%となっている。

また、放射線技師1人当たりの年間放射線件数は1,076件、放射線収入は10,113千円で、全国の16,430件、13,079千円のそれぞれ6.5%、77.3%となっている。

稼働病床100床当たり職員数（外部委託の給食部門を除く。）は83.0人で、リハビリ医療部門を有するなどの医業内容等の違いがあり単純に比較はできないものの、全国の59.4人に比べ1.40倍となっている。職種別に全国平均と比較すると医師1.47倍、看護部門1.31倍、薬剤部門1.08倍、事務部門1.70倍、放射線部門5.67倍、臨床検査部門1.43倍となっている。

参 考 資 料

1 比較損益計算書

リハビリテーション・精神医療センター

区 分 科 目	平成 1 8 年度		平成 1 7 年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	対医業 収益比	金 額 (a)	対医業 収益比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
	円	%	円	%	円	%
1 医 業 収 益 (A)	1,733,027,933	100.0	1,783,919,971	100.0	50,892,038	2.9
(1) 入 院 収 益	1,524,009,702	87.9	1,573,359,534	88.2	49,349,832	3.1
(2) 外 来 収 益	195,104,973	11.3	195,087,141	10.9	17,832	0.0
(3) そ の 他 医 業 収 益	13,913,258	0.8	15,473,296	0.9	1,560,038	10.1
2 医 業 費 用 (B)	3,453,215,939	199.3	3,402,701,140	190.7	50,514,799	1.5
(1) 給 与 費	1,936,683,038	111.8	1,881,838,642	105.5	54,844,396	2.9
(2) 材 料 費	227,289,194	13.1	232,196,890	13.0	4,907,696	2.1
(3) 経 費	680,886,629	39.3	678,505,615	38.0	2,381,014	0.4
(4) 減 価 償 却 費	576,026,534	33.2	567,164,768	31.8	8,861,766	1.6
(5) 資 産 減 耗 費	19,478,834	1.1	29,434,081	1.6	9,955,247	33.8
(6) 研 究 研 修 費	12,851,710	0.7	13,561,144	0.8	709,434	5.2
医 業 利 益 (損 失) (A) - (B) = (C)	1,720,188,006	99.3	1,618,781,169	90.7	101,406,837	6.3
3 医 業 外 収 益 (D)	2,032,884,229	117.3	2,093,301,115	117.3	60,416,886	2.9
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	4,230,821	0.2	2,523,583	0.1	1,707,238	67.7
(2) 他 会 計 補 助 金	1,914,933,000	110.5	1,976,303,000	110.8	61,370,000	3.1
(3) 負 担 金 及 び 交 付 金	97,773,986	5.6	100,942,062	5.7	3,168,076	3.1
(4) そ の 他 医 業 外 収 益	15,946,422	0.9	13,532,470	0.8	2,413,952	17.8
4 医 業 外 費 用 (E)	372,574,592	21.5	391,738,414	22.0	19,163,822	4.9
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	314,330,209	18.1	325,963,755	18.3	11,633,546	3.6
(2) 雑 支 出	51,670,020	3.0	51,640,082	2.9	29,938	0.1
(3) 雑 損 失	6,574,363	0.4	14,134,577	0.8	7,560,214	53.5
経 常 利 益 (損 失) (C) + (D) - (E) = (F)	59,878,369	3.5	82,781,532	4.6	142,659,901	172.3
当 年 度 純 利 益 (損 失) (G)	59,878,369	3.5	82,781,532	4.6	142,659,901	172.3
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (欠 損 金) (H)	72,964,886	4.2	159,928,683	9.0	86,963,797	54.4
当 年 度 末 処 分 利 益 剰 余 金 (欠 損 金)	13,086,517	0.8	242,710,215	13.6	229,623,698	94.6
収 益 合 計 (A) + (D)	3,765,912,162	217.3	3,877,221,086	217.3	111,308,924	2.9
費 用 合 計 (B) + (E)	3,825,790,531	220.8	3,794,439,554	212.7	31,350,977	0.8

2 比較貸借対照表

リハビリテーション・精神医療センター

区 分 科 目		平成 1 8 年度		平成 1 7 年度		対前年度比較	
		金 額 (a)	構成比	金 額 (a)	構成比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
資 産 の 部	1 固 定 資 産	円 %		円 %		円 %	
	(1) 有 形 固 定 資 産	10,729,457,325	76.9	11,248,142,443	78.0	518,685,118	4.6
	ア 土 地	10,226,590,957	73.3	10,745,276,075	74.6	518,685,118	4.8
	イ 建 物	1,938,533,643	13.9	1,938,533,643	13.5	0	0.0
	減価償却累計額 ()	12,542,181,473	89.9	12,542,181,473	87.0	0	0.0
	ウ 構 築 物	4,855,597,389	34.8	4,362,587,411	30.3	493,009,978	11.3
	減価償却累計額 ()	356,081,937	2.6	356,081,937	2.5	0	0.0
	エ 工 器 械 ・ 備 品	148,000,181	1.1	133,200,172	0.9	14,800,009	11.1
	減価償却累計額 ()	2,494,432,584	17.9	2,795,582,739	19.4	301,150,155	10.8
	オ 車 両	2,102,295,165	15.1	2,392,570,189	16.6	290,275,024	12.1
	減価償却累計額 ()	25,081,100	0.2	25,081,100	0.2	0	0.0
	カ 力 建 設 仮 勘 定	23,827,045	0.2	23,827,045	0.2	0	0.0
	(2) 無 形 固 定 資 産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ア 電 話 加 入 権	3,116,368	0.0	3,116,368	0.0	0	0.0
	(3) 投 資	3,116,368	0.0	3,116,368	0.0	0	0.0
	ア 投 資 有 価 証 券	499,750,000	3.6	499,750,000	3.5	0	0.0
		499,750,000	3.6	499,750,000	3.5	0	0.0
	2 流 動 資 産	3,220,434,447	23.1	3,164,507,389	22.0	55,927,058	1.8
	(1) 現 金 ・ 預 金	2,898,259,772	20.8	2,860,964,769	19.9	37,295,003	1.3
	(2) 未 収 金	303,519,639	2.2	301,031,685	2.1	2,487,954	0.8
負 債 の 部	ア 医 業 未 収 金	303,049,766	2.2	301,022,185	2.1	2,027,581	0.7
	イ 医 業 外 未 収 金	424,000	0.0	0	0.0	424,000	皆増
	ウ その他 未 収 金	45,873	0.0	9,500	0.0	36,373	382.9
	(3) 貯 蔵 品	18,655,036	0.1	2,510,935	0.0	16,144,101	643.0
	ア 薬 品	18,463,634	0.1	2,251,320	0.0	16,212,314	720.1
	イ 診 療 材 料	191,402	0.0	259,615	0.0	68,213	26.3
	(4) その他 流 動 資 産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	資 産 合 計	13,949,891,772	100.0	14,412,649,832	100.0	462,758,060	3.2
	3 流 動 負 債	177,381,982	1.3	181,906,798	1.3	4,524,816	2.5
	(1) 未 払 金	166,788,072	1.2	170,948,506	1.2	4,160,434	2.4
負 債 の 部	ア 医 業 未 払 金	164,687,820	1.2	169,863,718	1.2	5,175,898	3.0
	イ その他 未 払 金	2,100,252	0.0	1,084,788	0.0	1,015,464	93.6
	(2) 未 払 費 用	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(3) その他 流 動 負 債	10,593,910	0.1	10,958,292	0.1	364,382	3.3
	ア 預 り 金	10,593,910	0.1	10,958,292	0.1	364,382	3.3
	イ 前 受 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
本 部	負 債 合 計	177,381,982	1.3	181,906,798	1.3	4,524,816	2.5
	4 資 本 金	13,128,962,273	94.1	13,359,571,819	92.7	230,609,546	1.7
	(1) 自 己 資 本 金	2,861,455,503	20.5	2,691,710,174	18.7	169,745,329	6.3
	(2) 借 入 資 本 金	10,267,506,770	73.6	10,667,861,645	74.0	400,354,875	3.8
	ア 企 業 債	10,267,506,770	73.6	10,667,861,645	74.0	400,354,875	3.8
	5 剰 余 金	643,547,517	4.6	871,171,215	6.0	227,623,698	26.1
	(1) 資 本 剰 余 金	630,461,000	4.5	628,461,000	4.4	2,000,000	0.3
	ア 受 贈 財 産 評 価 額	2,000,000	0.0	0	0.0	2,000,000	皆増
	イ 他 会 計 補 助 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ウ 寄 附 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
本 部	エ その他 資 本 剰 余 金	628,461,000	4.5	628,461,000	4.4	0	0.0
	(2) 利 益 剰 余 金 (欠 損 金)	13,086,517	0.1	242,710,215	1.7	229,623,698	94.6
	ア 繰 越 利 益 剰 余 金 (繰 越 欠 損 金)	72,964,886	0.5	159,928,683	1.1	86,963,797	54.4
	イ 当 年 度 純 利 益 (純 損 失)	59,878,369	0.4	82,781,532	0.6	142,659,901	172.3
資 本 合 計		13,772,509,790	98.7	14,230,743,034	98.7	458,233,244	3.2
負 債 資 本 合 計		13,949,891,772	100.0	14,412,649,832	100.0	462,758,060	3.2

3 経営分析表

リハビリテーション・精神医療センター

項 目			単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	全国平均	算 式 等	
自己資本構成比率			%	23.6	24.7	25.1	26.8	(自己資本金＋剰余金)÷総資本×100	
固定資産対長期資本比率			%	77.4	79.0	77.9	87.3	固定資産÷(資本金＋剰余金＋固定負債)×100	
流動比率			%	1,916.8	1,739.6	1,815.5	210.0	流動資産÷流動負債×100	
減価償却率			%	5.7	6.0	6.5	5.3	減価償却費÷(固定資産-土地＋減価償却費)×100	
未収金回転率			回	5.8	5.9	5.7	5.8	医業収益÷((期首未収金＋期末未収金)÷2)	
医業収支比率			%	52.4	52.4	50.2	85.0	医業収益÷医業費用×100	
利子負担率			%	3.1	3.1	3.1	2.8	支払利息及び企業債取扱諸費÷企業債×100	
病 床 数			床	300	300	300			
職 員 数			人	232	231	233			
診 療 日 数		入 院 日		365	365	365			
		外 来 日		243	244	245			
患 者 数		年延入院	人	89,627	87,424	88,640			
		年延外来	人	15,855	16,133	15,897			
		合 計	人	105,482	103,557	104,537			
病 床 利 用 率			%	81.9	79.8	80.9	77.7	年延入院患者数÷年延病床数×100	
患 者 数	1日平均患者数		入 院 人	245.6	239.5	242.8	229.0	年延入院患者数÷入院診療日数	
			外 来 人	65.2	66.1	64.9	136.0	年延外来患者数÷外来診療日数	
	外 来 入 院 患 者 比 率		%	17.7	18.5	17.9	41.5	年延外来患者数÷年延入院患者数×100	
	医師1人1日当たり患者数		入 院 人	18.2	17.7	16.5	20.1	年延入院患者数÷年延医師数	
			外 来 人	3.2	3.3	3.0	8.4	年延外来患者数÷年延医師数	
	看護部門1人1日当たり患者数		入 院 人	1.5	1.4	1.4	1.9	年延入院患者数÷年延看護部門職員数	
			外 来 人	0.3	0.3	0.3	0.8	年延外来患者数÷年延看護部門職員数	
収 入	患者1人1日当たり診療収入		入 院 円	17,391	17,997	17,193	14,337	入院収益÷年延入院患者数	
			外 来 円	11,047	12,092	12,273	7,883	外来収益÷年延外来患者数	
			計 円	16,437	17,077	16,445	12,443	入院・外来収益÷年延入院・外来患者数	
	職員1人1日当たり診療収入		医 師 円	351,837	358,857	319,360	354,285	入院・外来収益÷年延医師数	
			看 護 円	28,472	29,319	28,104	33,736	入院・外来収益÷年延看護部門職員数	
費 用	患者1人1日当たり薬品費		投 薬 円	1,330	1,514	1,416	1,138	投薬薬品費÷年延入院・外来患者数	
			注 薬 円	100	91	113	82	注薬薬品費÷年延入院・外来患者数	
			計 円	1,430	1,605	1,529	1,220	投薬・注薬薬品費÷年延入院・外来患者数	
	入院患者1人1日当たり給食材料費			円	651	687	669	573	患者用給食材料費÷年延入院患者数
	薬 品 使 用 効 率		投 薬 %	102.0	105.2	114.1	124.1	投薬薬品収入÷投薬用薬品費×100	
			注 薬 %	92.6	79.6	85.8	124.1	注薬薬品収入÷注薬用薬品費×100	
			計 %	101.4	103.7	112.0	124.1	投薬・注薬薬品収入÷投薬・注薬薬品費×100	
診療報酬に対する割合		投 薬 注 薬 収 入 %	8.8	9.8	10.4	12.2	投薬・注薬薬品収入÷入院・外来収益×100		
		検 査 収 入 %	2.3	2.3	2.4	2.0	検査収入÷入院・外来収益×100		
		放 射 線 収 入 %	2.7	3.0	2.9	0.6	放射線収入÷入院・外来収益×100		
医業収益に対する割合		薬 品 費 %	8.6	9.3	9.2	9.3	薬品費÷医業収益×100		
		その他医業材料費 %	3.6	3.7	3.9	1.5	その他医療材料費÷医業収益×100		
		職 員 給 与 費 %	100.4	100.6	106.3	104.8	職員給与費÷医業収益×100		
検 査 の 状 況	患者100人当たり検査件数			件	86.1	83.1	92.5	63.0	年間検査件数÷年延入院・外来患者数×100
	患者100人当たり放射線件数			件	5.2	5.2	5.1	9.7	年間放射線件数÷年延入院・外来患者数×100
	検査技師1人当たり検査件数			件	30,276	28,696	32,243	39,368	年間検査件数÷年度末検査技師数
	検査技師1人当たり検査収入			千円	13,484	13,610	13,951	15,650	検査収入÷年度末検査技師数
	放射線技師1人当たり放射線件数			件	1,089	1,081	1,076	16,430	年間放射線件数÷年度末放射線技師数
	放射線技師1人当たり放射線収入			千円	9,191	10,624	10,113	13,079	放射線収入÷年度末放射線技師数
稼働病床100床当たり職員数		医 師 人	4.7	4.7	5.3	3.6	年度末(各種)職員数÷年度末病床数×100		
		看 護 部 門 人	53.3	53.3	52.3	39.8			
		薬 剤 部 門 人	1.3	1.3	1.3	1.2			
		事 務 部 門 人	8.7	9.0	8.0	4.7			
		給 食 部 門 人	0.7	0.7	0.7	3.7			
		放 射 線 部 門 人	1.7	1.7	1.7	0.3			
		臨 床 検 査 部 門 人	1.0	1.0	1.0	0.7			
		そ の 他 人	12.0	11.0	12.7	5.4			
全 職 員 人		83.3	82.7	83.0	59.4				
1床当たり償却資産			千円	31,046	29,356	27,627	10,160	(償却資産(建物・器械)・減価償却累計額)÷病床数	

・全国平均は、地方公営企業年鑑(平成18年度総務省調査)の「精神科病院」の平成17年度実績である。ただし、財務関係比率は、同「都道府県立の全病院」の比率を採用している。

・総資本＝負債・資本